

AGCデータブック

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the cover. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font, with a small red square positioned above the letter 'C'.

AGC株式会社

2024年3月

Your Dreams, Our Challenge

会社概要	3
製品情報	
建築ガラス	10
オートモーティブ	20
電子 - ディ스플레이 -	31
電子 - 電子部材 -	42
化学品 - エッセンシャルケミカルズ -	52
化学品 - パフォーマンスケミカルズ -	59
ライフサイエンス	69
新規事業 - 次世代高速通信向けソリューション -	74
セラミックス / その他	79
その他参考情報	86

2023年12月31日現在

登記社名	AGC株式会社（英語表記名：AGC Inc.）
本社所在地	〒100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
設立	昭和25年（1950年）6月1日 〔創立：明治40年（1907年）9月8日〕
代表者	代表取締役社長・CEO 平井 良典
決算期	12月31日
資本金	90,873百万円
連結売上高	20,193億円
関係会社数	子会社：214社（うち海外173社） うち連結子会社：194社（うち海外156社） 関連会社：27社（うち海外16社）
連結従業員	56,724人

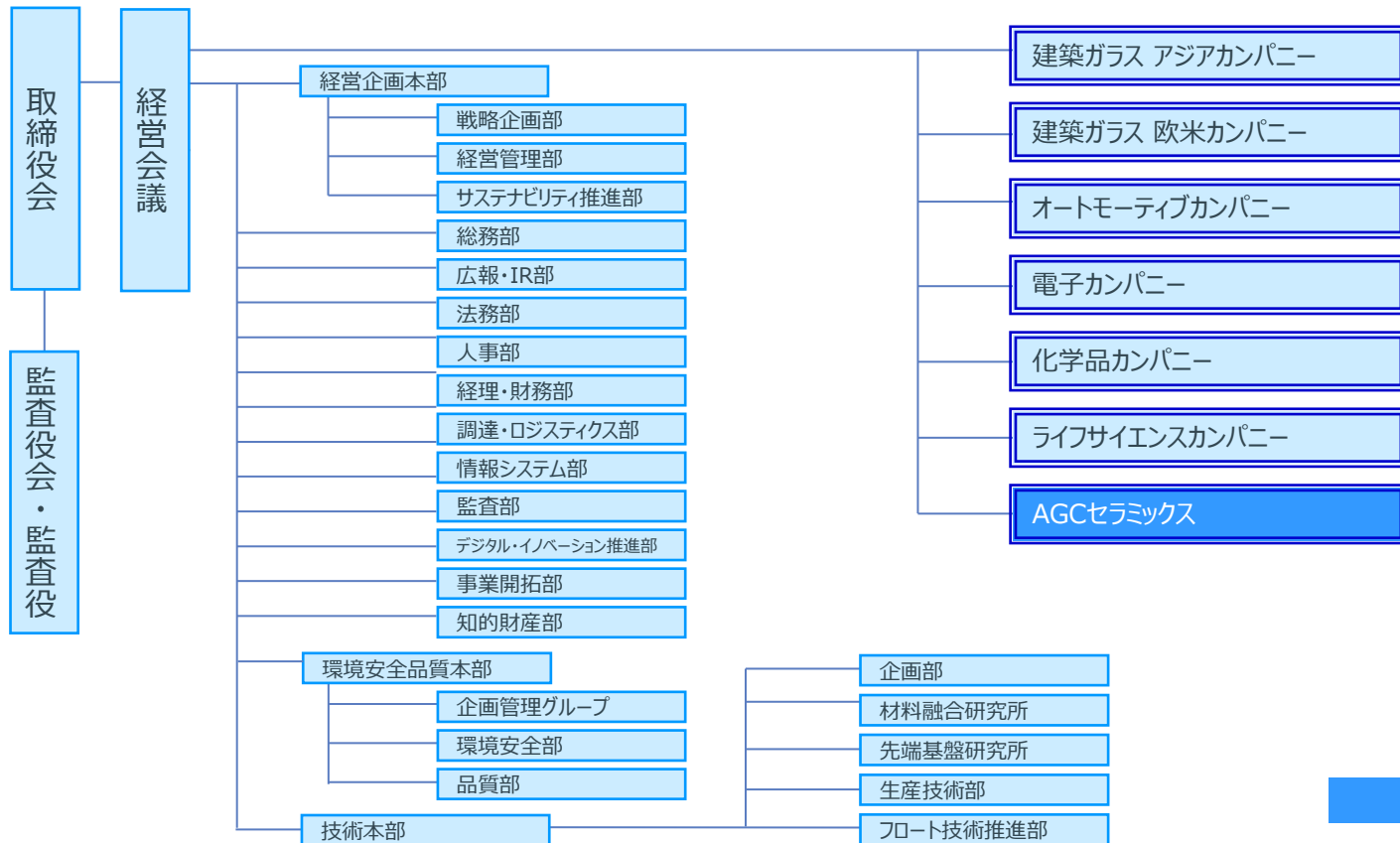
銘柄コード	5201
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
発行済株式総数	217,434,681株
株式情報	https://www.agc.com/ir/stock/stock/index.html
役員情報	https://www.agc.com/company/executive/index.html



代表取締役
社長執行役員・
CEO
平井 良典

年	略歴
1978年	福井県立 藤島高校卒業
1987年	東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（物理工学専攻）工学博士
1987年	旭硝子（現 AGC）入社 中央研究所配属
1997年	同社 電子事業本部電子技術開発研究所 液晶デバイスグループリーダー
2005年	オプトレックス株式会社 取締役事業本部長
2008年	同社 取締役 副社長執行役員
2009年	旭硝子（現 AGC） 電子カンパニー事業企画室長
2011年	同社 事業開拓室長
2012年	同社 執行役員 事業開拓室長
2014年	同社 取締役 常務執行役員 技術本部長
2016年	同社 取締役 常務執行役員 CTO 技術本部長
2018年	AGC 代表取締役 専務執行役員 CTO 技術本部長
2021年	同社 代表取締役 社長執行役員 CEO

2023年4月現在



…関係会社

2023年8月現在

名称	所在地	電話番号	生產品目
関西工場 尼崎事業所	〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町2	06-6413-3325	電子用ガラス
関西工場 高砂事業所	〒676-8655 兵庫県高砂市梅井5-6-1	0794-47-1882	電子用ガラス、半導体製造用部品
AGC横浜テクニカルセンター (旧京浜工場)	〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1	045-503-7100	研究開発 建築用ガラス、自動車用ガラス
千葉工場	〒290-8566 千葉県市原市五井海岸10	0436-23-3121	クロール・アルカリ製品、 フッ素樹脂製品、医薬中間体・原体
愛知工場	〒470-2394 愛知県知多郡武豊町字旭1	0569-73-1110	自動車用ガラス
鹿島工場	〒314-0195 茨城県神栖市東和田25	0299-96-2215	建築用ガラス、苛性ソーダ、 フッ素樹脂製品、重曹
相模工場	〒243-0301 神奈川県愛甲郡愛川町角田426-1	046-286-1254	自動車用ガラス

2023年12月31日現在

世界およそ30の国や地域でビジネスを展開
 連結子会社 合計194社 (国内38社 海外156社)

欧州
115社

日本・アジア
113社

北米・南米
13社

当社連結子会社のうち主要な会社

※関係会社合計

欧州		日本・アジア		北米・南米	
会社名	地域	会社名	地域	会社名	地域
AGC Glass Europe	ベルギー	AGCセラミックス	日本	AGC Flat Glass North America, Inc.	アメリカ
AGC Automotive Europe	ベルギー	AGCガラスプロダクツ	日本	AGC Biologics Inc.	アメリカ
AGC Flat Glass Czech a.s.	チェコ	AGC硝子建材	日本	AGC America, Inc.	アメリカ
AGC Biologics A/S	デンマーク	伊勢化学工業	日本	AGC Capital, Inc.	アメリカ
		AGCディスプレイガラス台湾	台湾		
		艾杰旭汽車玻璃 (蘇州)	中国		
		AGCディスプレイガラス惠州	中国		
		AGCファインテック/韓国	韓国		
		PT Asahimas Chemical	インドネシア		
		AGC Vinythai Public Company Limited	タイ		

多くの製品で世界トップクラスのシェアを持つ

フロート板ガラス
世界トップシェア



TFT液晶/有機EL用
ガラス基板
世界 No.2



苛性ソーダ
塩化ビニル樹脂
東南アジア No.1



(原料となる塩の山)

自動車用ガラス
世界トップシェア



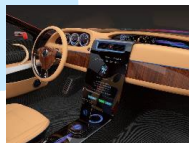
電子機器用超薄板
ソーダライムガラス
世界 No.1



ETFE樹脂
(フッ素樹脂)
世界 No.1



車載ディスプレイ用
カバーガラス
世界 No.1



EUV露光用
フォトマスクブランクス
世界 No.2



現場塗装塗料用
フッ素樹脂
世界 No.1



※2024年1月時点当社推定

AGCグループが扱うガラスの種類

ガラスの総合メーカーとして、多種多様なガラスを製造しています。

ソーダライムガラス

建築用

自動車用

TN/STN液晶用

無アルカリガラス

TFT液晶用

アルミノシリケートガラス

化学強化用

石英ガラス

合成石英

硼珪酸ガラス

耐熱食器用

理化学機器用

ビスマス系ガラス

光学用

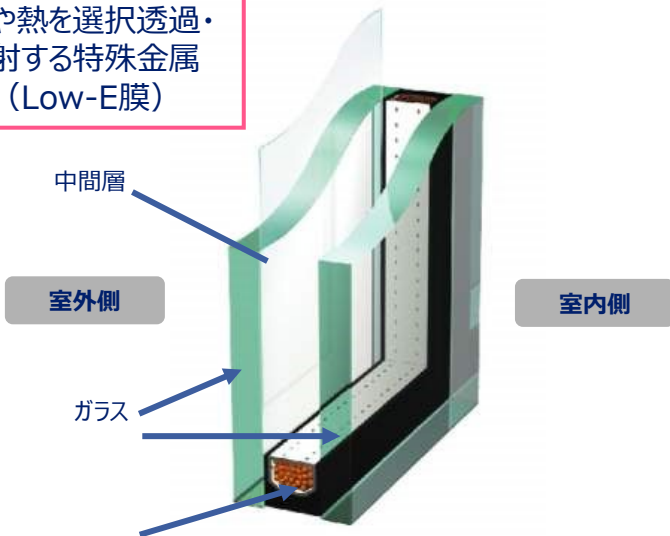
建築ガラス

一般名	代表的な製品名	製品説明
フロート板ガラス	フロート板ガラス	透明な平板状板ガラスであり、建築に使われる板ガラスの中で最も一般的な板ガラス。 建築用板ガラスとしては、厚さ3ミリ～19ミリの生産が可能で、幅約3m長さ約10mまでの大板ガラスが生産可能。 (厚さ・大きさによっては制限あり)
合わせガラス	ラミセーフ® ラミセーフシールド™	2枚のガラスの間に中間膜を挟んだガラスで、万一割れても破片が殆ど飛散せず、更に耐貫通性にも優れているため、防犯・防災に有効。 紫外線をカットする効果もある。
複層ガラス	ペアガラス® マイミュート® (防音タイプ)	2枚のフロート板ガラスの間に乾燥空気や断熱性の高いガスを封入したガラスで、断熱効果、省エネ効果、結露防止効果をもつ。
エコガラス (Low-E複層ガラス)	サンバランス® ベアプラス® (リフォーム用)	片方のガラスの内側に特殊金属膜をコーティングした複層ガラスで、高い断熱性と遮熱性をもつ。
強化ガラス	テノライト®/スカルテノ® ミストロンエース®/ホームストロン	フロート板ガラスを加熱急冷して強度を約3～5倍にあげた安全ガラスで、割れにくく、万一割れても、破片が細かい粒状になる。
耐熱強化ガラス	マイボーカ®	特殊な強化処理により、耐熱性能を持った防火ガラス。網が無いためクリアな視界を確保できる。
鏡	サンミラー® G	耐久性や強度が高く、さらに環境にも配慮された高性能な鏡。
カラーガラス	ラコベル®/マテラック®	裏面に特殊な塗料を塗装したガラス。主に商業施設の内装に使用される。
型板ガラス	霞®	板ガラスの片側面に型模様をつけたもので、光を通しながら視線を遮る機能、インテリア効果を高める機能をもつ。
網入・線入板ガラス	ヒシワイヤ® /クロスワイヤ	製造時に金網または金属線を封入したガラスで、防火設備に使用される。

- 光や熱を選択透過し、建築物のエネルギー効率改善に貢献
- 1枚ガラスと比較して約78%、熱の移動を抑制*

エコガラスの構造

光や熱を選択透過・
反射する特殊金属
膜（Low-E膜）

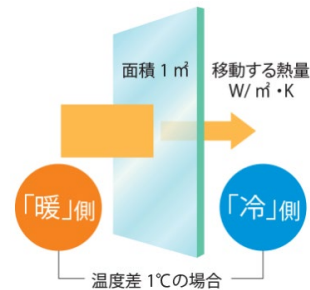


*3層のフロートガラスとガス入りLow-E複層ガラスでの熱貫流率での比較

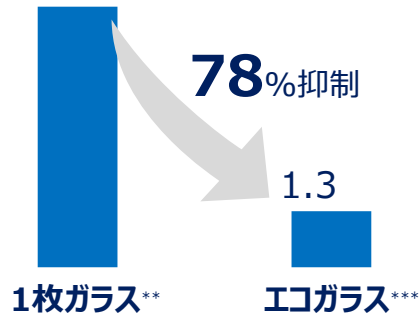
エコガラスの効果例

熱貫流率

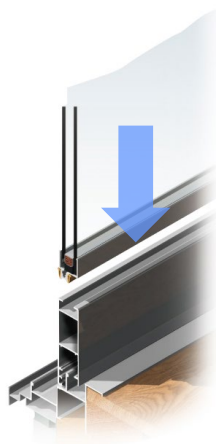
内外温度差1℃で1時間・
1㎡あたりに通過する熱量



熱貫流率



ペヤプラス® 改修用Low-E複層ガラス



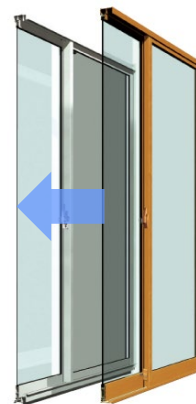
断熱

遮熱

結露対策

既存のサッシはそのままに、1枚ガラスをエコガラス（Low-E複層ガラス）に交換できる商品です。

まどまど® 快適な環境を作り出す二重窓



断熱

遮熱

結露対策

防音

既存のサッシ・ガラスはそのままに、内側にもう一つ高機能な内窓を取り付ける商品です。

アトッチ® 現場施工型後付けLow-Eガラス

ATTOCH®

断熱

遮熱

結露対策

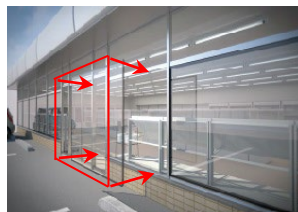


オフィスや店舗に多く使用されている開閉できないFIX（はめ殺し）窓に対し、室内からLow-Eガラスを貼りつけることで省エネ性能の高い複層ガラスにすることができます。

製品ラインナップ

ワイルドアトッチ®

＜外付け仕様＞ 路面店舗など
営業を妨げずに省エネルギー



アトッチ® サンジュールSUDARE

＜太陽光発電仕様＞ 省エネと創エネを両立
したいオフィスビルや店舗の窓に



- ガラスの間に発電セルを封入した太陽光発電が可能なガラス
- 窓で創エネ可能なため、太陽光パネル設置場所の制約解消に貢献
- 創エネ性能と意匠性を両立し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献



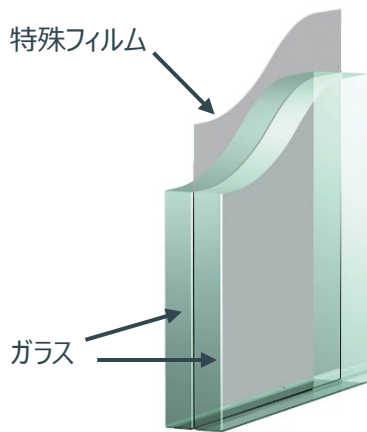
産総研ゼロエミッション国際共同研究センター
エントランスキャンピー



シンガポール工科大学ブングル新キャンパス

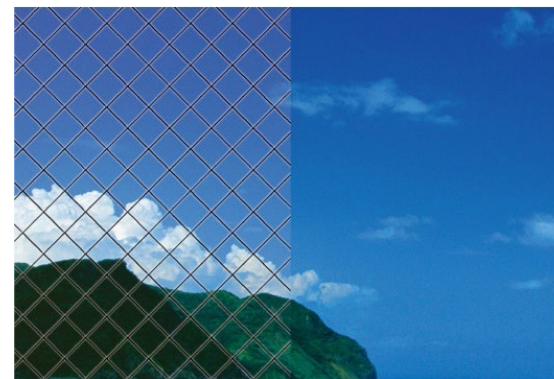
* : Building Integrated Photovoltaics

ラミセーフシールド™ 防災安全合わせガラス



2枚のガラスの間に厚さ60mil (約1.5ミリ)以上の柔軟で強靱な特殊フィルムを挟んだ構造の「防災安全合わせガラス」です。耐貫通性に優れ、更に特殊フィルムとガラスの強固な接着により、ガラスの飛散防止性を有します。

マイボーク® 網なし防火ガラス



防火ガラスには網入りガラスと、網なし耐熱強化ガラス「マイボーク®」があります。

網なし耐熱強化ガラスには、

- ①クリアな視界を確保する
- ②網入りガラスの欠点である熱割れと無縁
- ③網入りガラスに比べて軽いので窓の開閉が容易

といった特徴があります。

ラコベル® 内装用カラーガラス



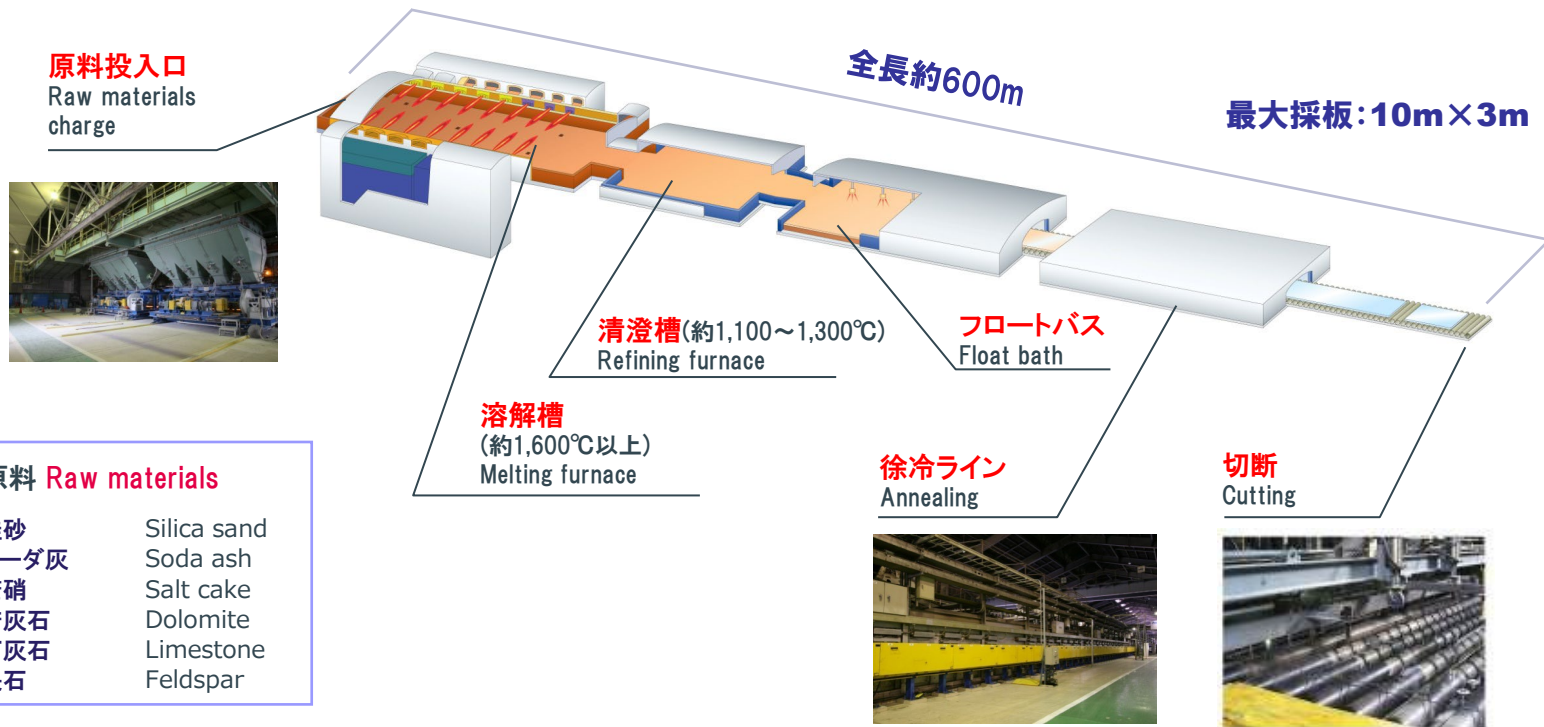
ラコベルは、ガラスの裏面に特殊な塗料を重ねて焼き付けた内装用のカラーガラスです。インテリアに色のコントラストを加え、洗練された印象をもたらします。

クリアサイト® II 屋外でも使用可能な低反射ガラス



ガラスの両面に特殊なコーティングを施し、可視光の反射率を通常の約8.0%から約0.9%に抑えることで、映り込みを低減した建築用低反射ガラスです。コーティングの耐候性、耐薬品性が高く、屋外でも使用することができます。また、合わせガラスとして加工することもできます。

板ガラス製造工程（フロート法）



2024年2月現在

ガラス製造（フロート窯）拠点：全世界で26窯（内、持分法適用2）を保有

欧州（7拠点11窯）		
都市名	国名	窯数
ムスティエ	ベルギー	3
モル	ベルギー	1
サンブース	フランス	1
オスターヴェディングン	ドイツ	1
クネオ	イタリア	1
サグント	スペイン	1
レテニチェ	チェコ	3

日本・アジア（9拠点12窯）		
都市名	国名	窯数
鹿島	日本	1
愛知	日本	2
蘇州	中国	1
チカンベック	インドネシア	2
スラバヤ	インドネシア	2
サムトプラカン	タイ	1
チョンプリ	タイ	1
タロージャ	インド（*）	1
ルールキー	インド（*）	1

北米（1拠点1窯）		
都市名	州名	窯数
リッチモンド	ケンタッキー	1

南米（1拠点2窯）		
都市名	国・州名	窯数
グアラティンゲタ	ブラジル サンパウロ州	2

注（*）持分法適用会社

オートモーティブ

自動車用ガラスの種類

	一般名	製品説明	
基本ガラス	合わせガラス	2枚のガラスの間にフィルムを挟んで接着することで、割れても破片が飛び散りにくく、また貫通しにくい効果をもつ、安全性・防犯性に優れたガラス。	
	強化ガラス	ガラスを加熱、急冷することで、強度を高めた安全性に優れたガラス。割れた時に破片が粒状になる。	
高機能ガラス	快適性	UV99%カットガラス	ガラスに紫外線を約99%カットする機能を持たせ、日焼けなど皮膚への長期的なダメージを軽減するガラス
		赤外線カットガラス	2枚のガラスの間に特殊な膜を挟むことにより、赤外線の中でも最もジリジリ感を感じさせる波長領域を大幅カットしながら、電波透過性も併せ持つ遮熱ガラス。
			合わせガラスの内面に特殊な膜をコーティングすることにより、主に赤外線を反射する機能をもたせた遮熱ガラス。
		プライバシーガラス	ガラスに着色成分を添加することにより、プライバシー性を確保すると同時に高い遮熱性をもたせたガラス。
		遮音ガラス	合わせガラスの遮音性能を高めて、走行時の静粛性の向上に寄与するガラス。
		合わせサイドガラス	サイドガラスを合わせガラスにすることで、盗難予防性及び遮音性を高めたガラス。
		調光ガラス	2枚のガラスの間に特殊なフィルムを挟み、光の透過を自在にコントロールし、透明モードでは開放感が得られ、調光モードではプライバシー性を確保でき、日差しを遮ることができるガラス。
	断熱ガラス (Low-E)	車載用特殊Low-Eコートにより、夏は日射熱を遮り、涼しく快適な車内温度、冬は車内の熱を外に逃しづらく、暖かく快適な車内温度を実現するガラス。	
	視界向上	ドア撥水ガラス	高反応性フッ素やシリコンのコーティングにより、高い撥水性と耐久性を併せ持った、雨天時の視認性を向上させるドアガラス。
		融雪・融氷フロントガラス	フロントガラスに導電性インク（発熱体）をプリント焼付けし通電することにより融雪・融氷機能を発揮するガラス。
		電熱防曇ガラス	リヤガラスに導電性インク（発熱体）をプリント焼付けし通電することにより防曇機能を発揮するガラス。
	情報通信	プリントタイプガラスアンテナ	導電性インクをプリント焼付けでガラスに一体成型された、意匠性・耐久性に優れた自動車用アンテナ。
		ヘッドアップディスプレイ用ガラス	スピードメーターなどの表示をガラス上に映す機能を備えたフロントガラス。
デザイン	モジュールアッシーウィンドウ	ガラス周りの樹脂部品を一体成型したガラス。	

UVベールPremium® シリーズ

車の全方位から降り注ぐ紫外線を約99%*カット
ドライバーや助手席の方、後部座席の方の肌も紫外線から守る

- 日焼けやしみの原因となる紫外線（UV）カット機能に加え、日射しの暑さやジリジリ感の原因となる赤外線（IR）カット機能も搭載し、「車内が暑い」、「運転中に腕がジリジリする」といった不快感も解消します。
- 暑さを和らげ、弱めのエアコン設定を可能にすることで、冷房負荷低減によるCO2排出量低減にも貢献します。



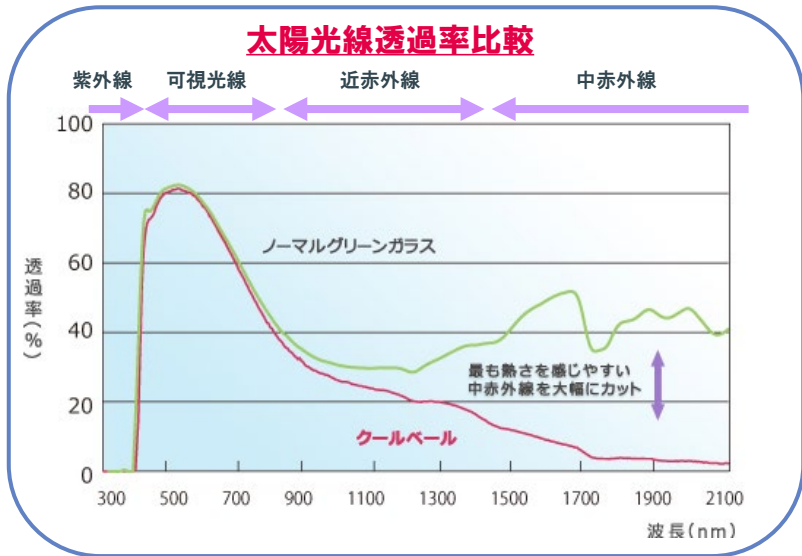
* 弊社測定値、ISO9050基準

クールベール®

赤外線と紫外線の両方をカットし、さらに快適な車内を実現

Coolverre®
赤外線&紫外線カットガラス

- 太陽光線のうち、最も熱さを感じやすい中赤外線を効率的にカットし、直射日光によるジリジリ感を抑えます。
- 車内の温度上昇を抑え、快適性や燃費を向上させます。
- お肌の老化の原因となる紫外線も、約99%カットします。
- 電波透過性能を持ちます。



中間膜にIR(赤外線)カット剤を練りこみ、IRを効果的にカットします。

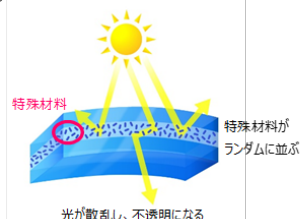


WONDERLITE® Dx

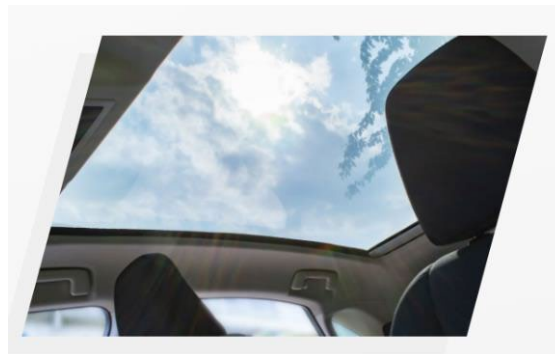
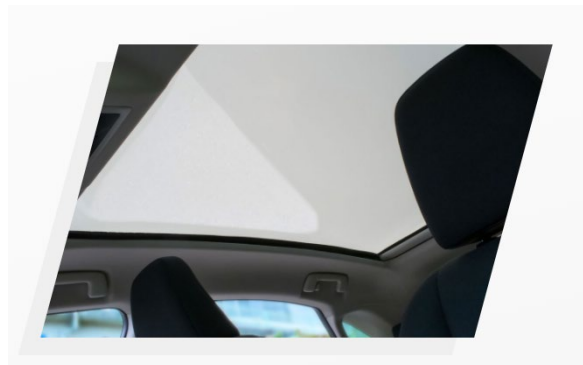
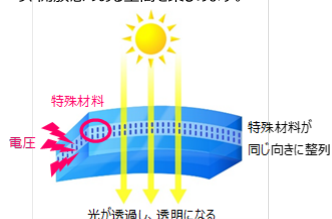
特殊なフィルムを挟み込む合わせガラスの構造
調光モード（不透明な状態）では日差しの眩しさを和らげ、
透過モード（クリアな状態）では開放感を楽しめる
シーンに合わせた車内空間を実現

- 世界最速の切り替え制御
- 調光モード⇔透過モードどちらでも紫外線を99%カット
- 紫外線をカットし乗員の肌を守り、
冷房負荷低減によるCO2排出量低減にも貢献

特殊材料がランダムに並んでいるため、外からの光が散乱されガラスは不透明になり、眩しさを低減します。



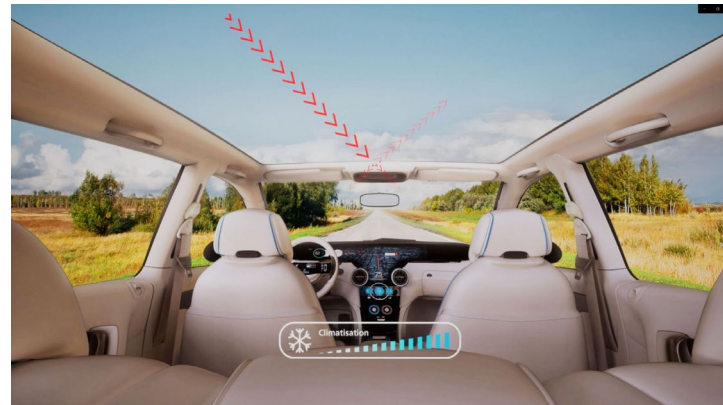
フィルム内に電圧を加えると、特殊材料は同じ向きに整列し、外からの光を通すのでガラスは透明になり、開放感のある空間を楽しめます。



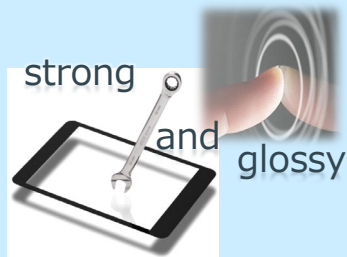
断熱ガラス (Low-E)

車載用特殊Low-Eコートにより、夏は日射熱を遮り、涼しく快適な車内温度、冬は車内の熱を外に逃しづらく、暖かく快適な車内温度を実現

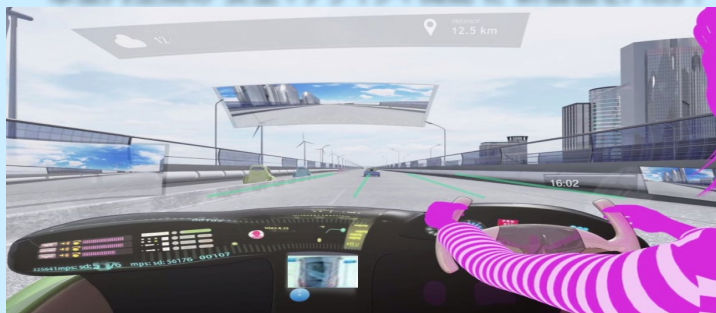
- エアコン負荷を低減し燃費が向上することで、CO2排出を削減、EVでは航続距離延長にも貢献します。
- ルーフガラスに使用することで、シェードレス設定を可能にし、車体の軽量化やヘッドクリアランス（座席に座った際の頭頂部から天井までの距離）の確保にも寄与します。



■「高い強度と質感」により、新しい価値を自動車内装部品に実現する車載用化学強化ガラス



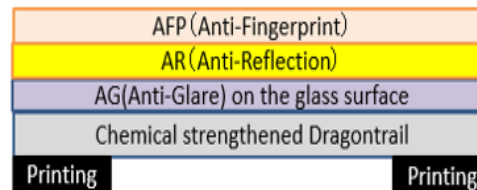
車室内空間の 安全+デザイン+機能 に 新価値をPlus !



- 従来ガラスに比べて、高い強度と安定性を持ち、安全で快適なドライブ環境の実現に貢献しています。
- すぐれた耐傷性と独自の表面処理技術により、いつまでもキレイでつややかなガラス面を保ち、目に優しく・見やすいディスプレイ表示を実現しています。
また、手触りの良い表面は指先での操作性向上にも役立っています。



◆ Cross section of a standard cover glass



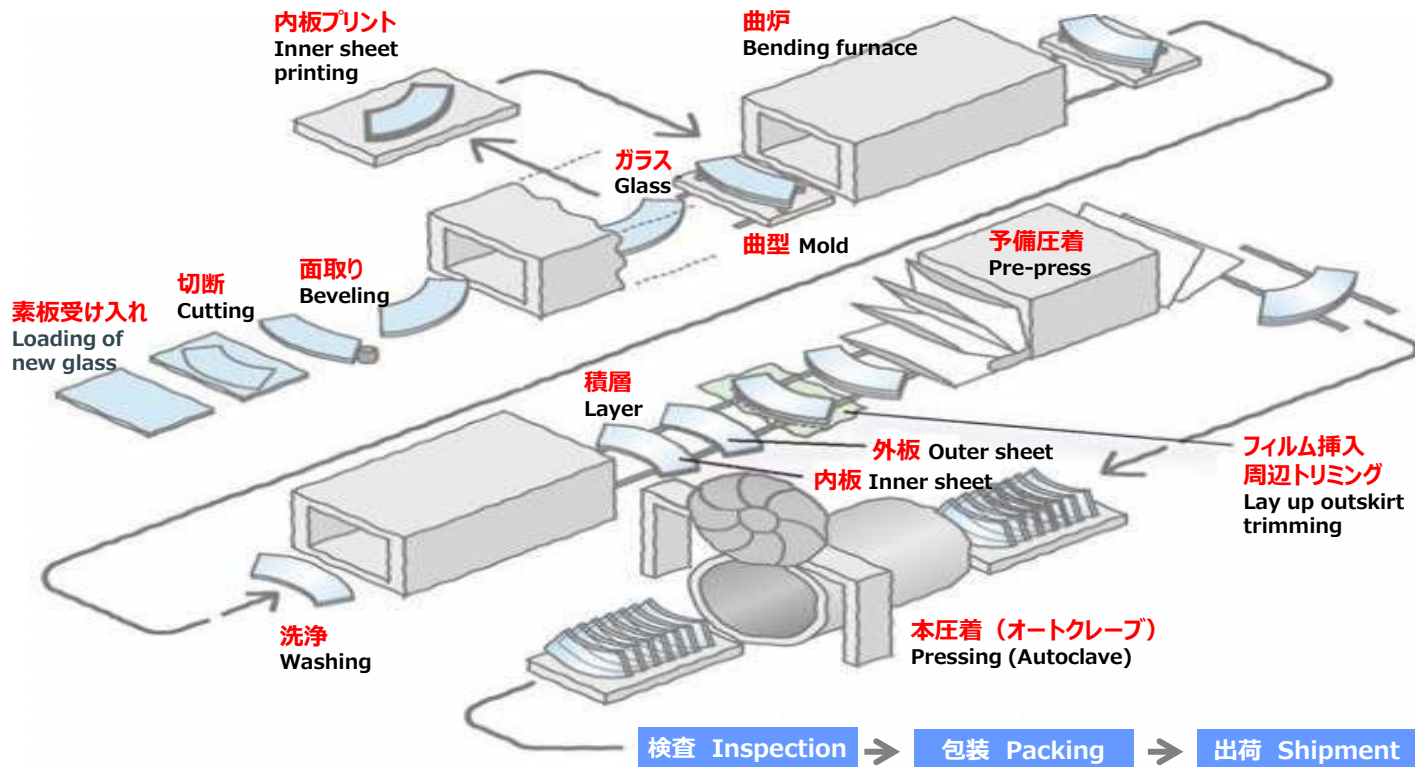
- 2013年の生産開始以来、100車種以上3,000万枚以上の出荷実績



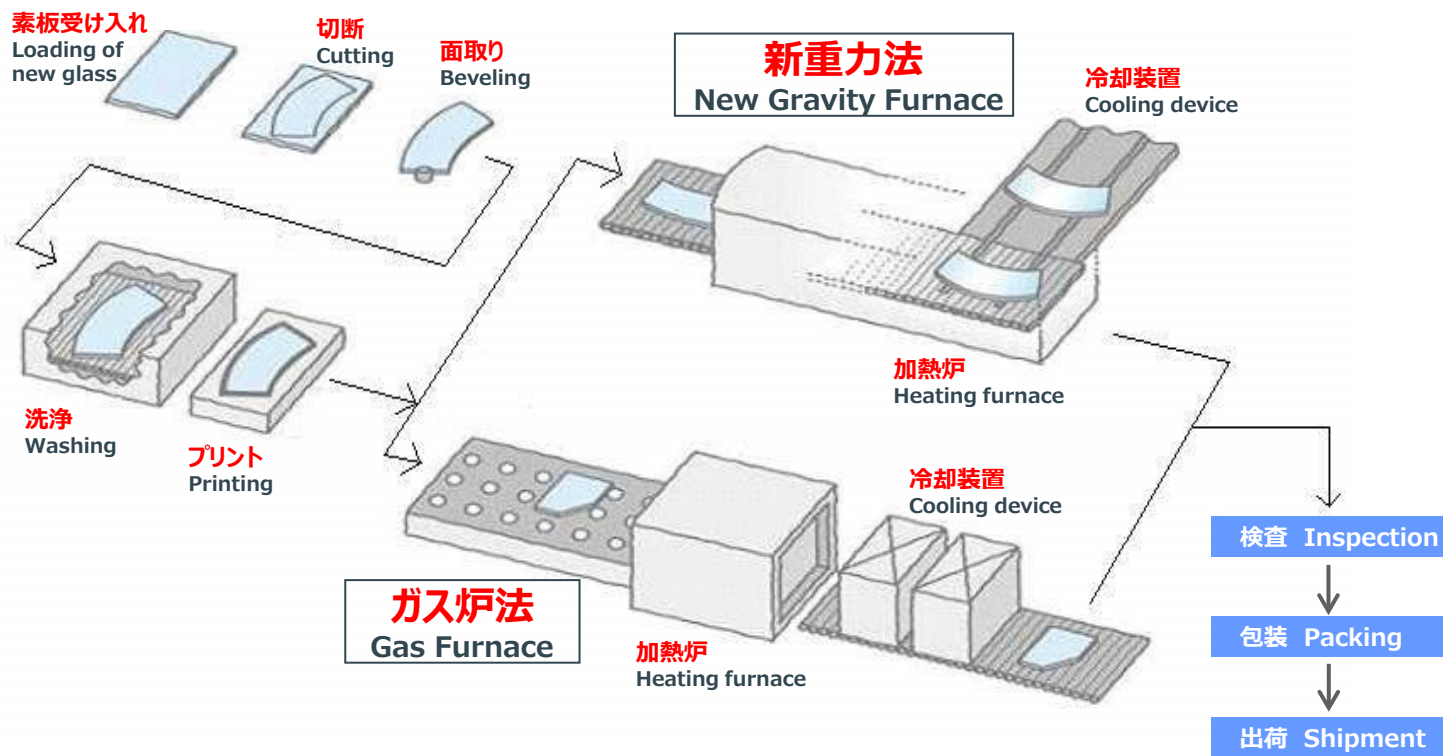
- 主な採用事例(一部抜粋)は以下の通り

採用企業	採用車種	社外発表時期
Audi	Audi "A8"	2017年9月14日
TOYOTA	LEXUS "RX"	2019年9月 2日
General Motors	Cadillac "Escalade"	2020年9月10日

自動車用合わせガラスの製造工程



自動車用強化ガラスの製造工程



2024年2月現在

欧州（5拠点）	
都市名	国名
フルーラス	ベルギー
アニツシュ	フランス
ロカセカ	イタリア
クデリチェ	チェコ
タタバニャ	ハンガリー

アフリカ（1拠点）	
都市名	国名
ケントラ	モロッコ

日本・アジア（12拠点）	
都市名	国名
愛知	日本
相模	日本
秦皇島	中国
佛山	中国
蘇州	中国
チカンベック	インドネシア
バンパコン	タイ
レワリ（*）	インド
チェンナイ（*）	インド
ルールキー（*）	インド
タロージャ（*）	インド
グジャラート・パタン（*）	インド

北米（3拠点）		
都市名	州名	国名
エリザベスタウン	ケンタッキー	米国
ベルフォンテン	オハイオ	米国
サンルイスボトシ	サンルイスボトシ	メキシコ

南米（1拠点）		
都市名	州名	国名
グアラティンゲタ	サンパウロ	ブラジル

注（*）持分法適用会社

電子 ーディスプレイー

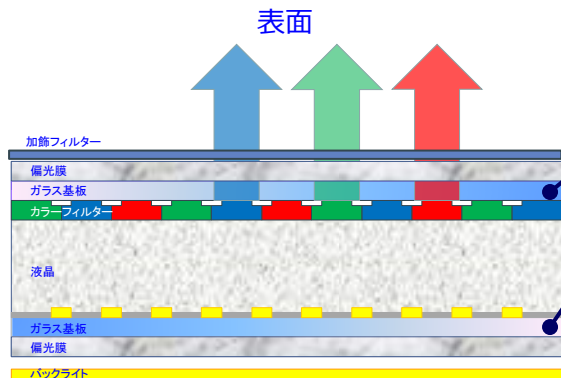
一般名	代表的な製品名	製品説明
TFT液晶/ 有機EL用ガラス基板	AN100	ディスプレイ用基板材料として、フロート法で開発された、アルカリ分を含まないアルミノ珪酸塩ガラス。 透明性を有し、表面が平滑・平坦であり、さらに耐熱性に優れている。
	AN Wizus®	スマートフォンやタブレットPCなどの高精細ディスプレイ用パネルに最適な、世界最高水準の超低熱収縮特性を有するガラス基板。
	AN Rezosta®	業界最高水準の高ヤング率を持つ、高精細・大画面ディスプレイ向け大型ガラス基板。
化学強化用特殊ガラス	Dragontrail® シリーズ	スマートフォン、タブレット、PC、車載ディスプレイなどの電子機器用カバーガラス向け化学強化用特殊ガラス。
高品質ソーダライムガラス	AS2	各種表示デバイス向け、及びタブレット、PC、車載ディスプレイなどのカバーガラス、センサー基板向けガラス。

AN100

<AGCの強み>

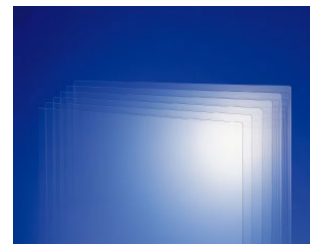
- 透明性を有し、表面が平滑・平坦、耐熱性にも優れているアルミノ珪酸塩ガラスを安定的に製造。

液晶テレビの断面図



TFT液晶／有機EL用ガラス基板：AN100

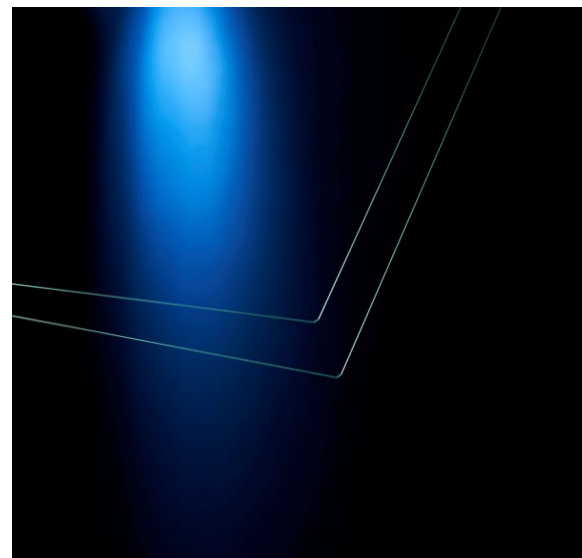
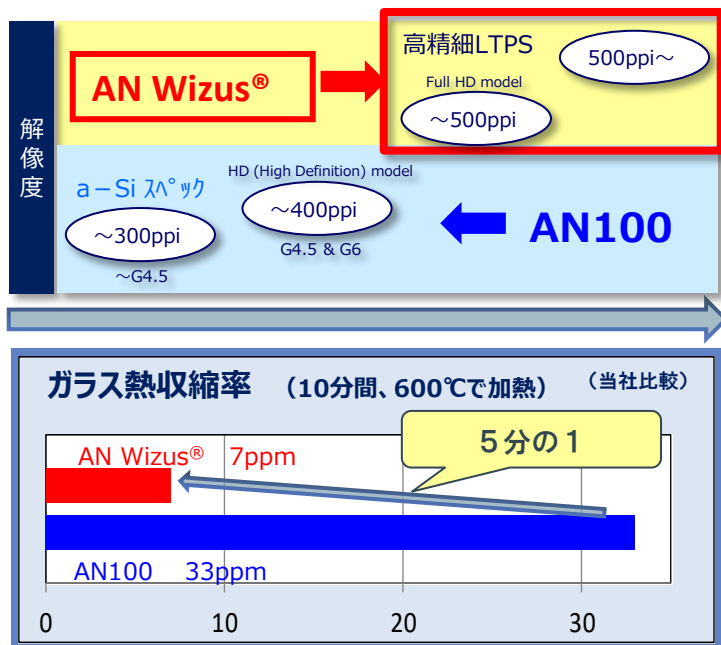
AN100は、TFT（Thin film transistor）にダメージを与えるアルカリ成分（ソーダ灰）を使用しない、無アルカリガラスです。



AN Wizu[®]

<AGCの強み>

- 高精細パネル用の最適なガラス組成設計、低熱収縮ガラスの生産に適した長い徐冷工程を有するフロート法での生産により、圧倒的な低熱収縮を実現。

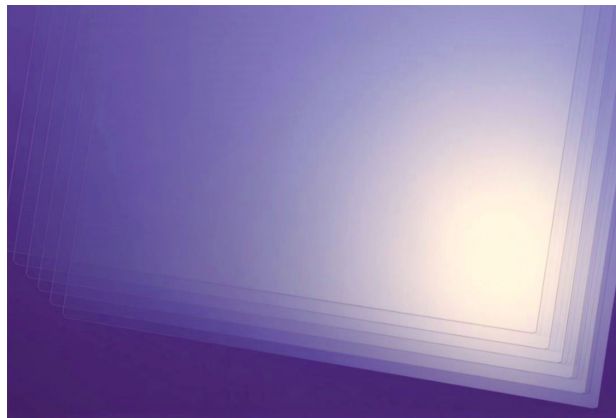


AN Wizu[®]

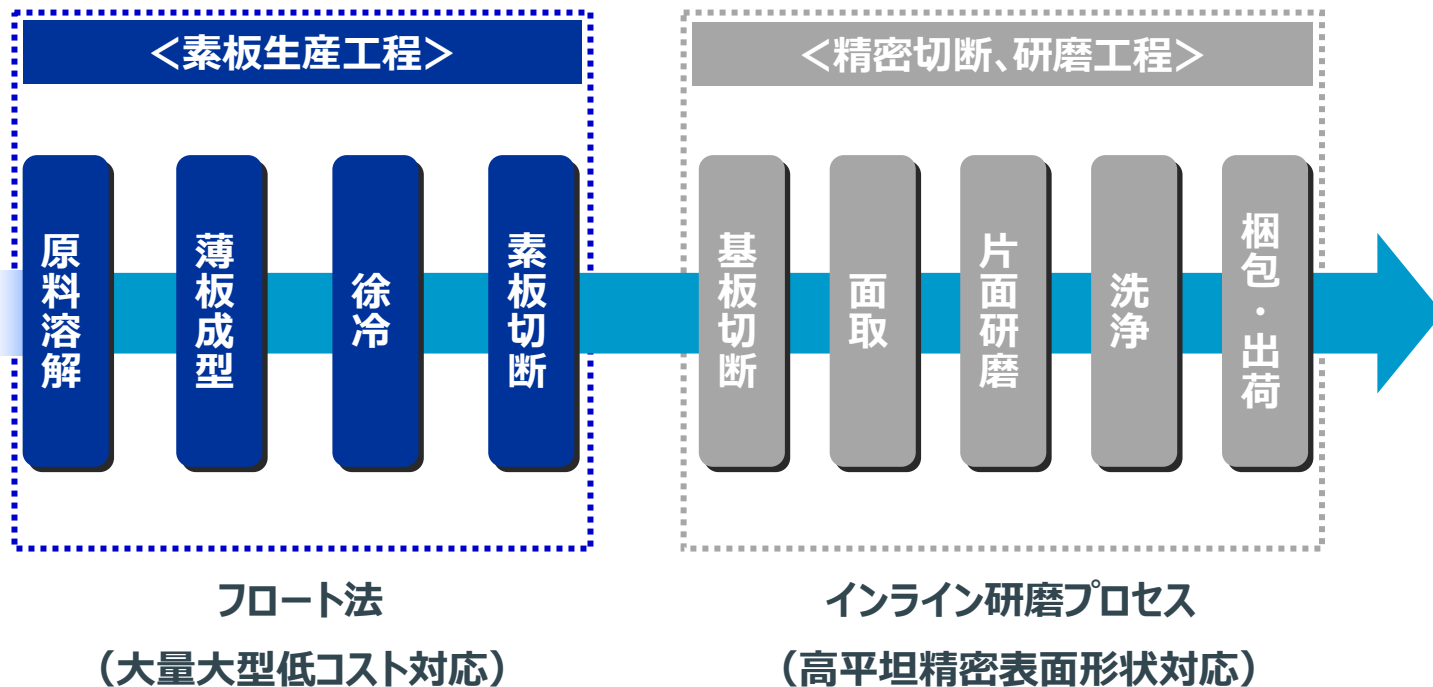
AN Rezosta®

<AGCの強み>

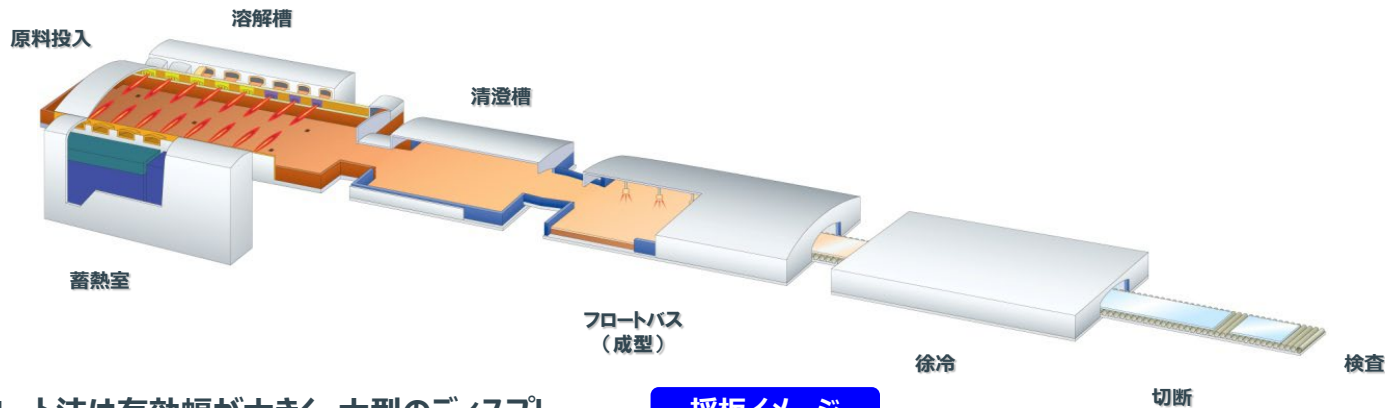
- 業界最高水準の高ヤング率と低熱収縮率を有し、第8世代などの大サイズ基板の製造と安定的な供給も可能。
- お客様の大画面・超高精細・高速駆動パネルの性能や生産性の向上に寄与。



AN Rezosta®

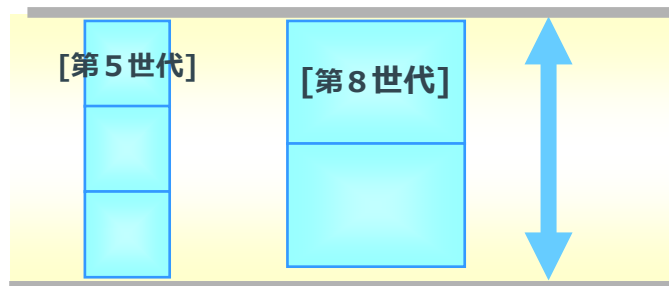


フロート法

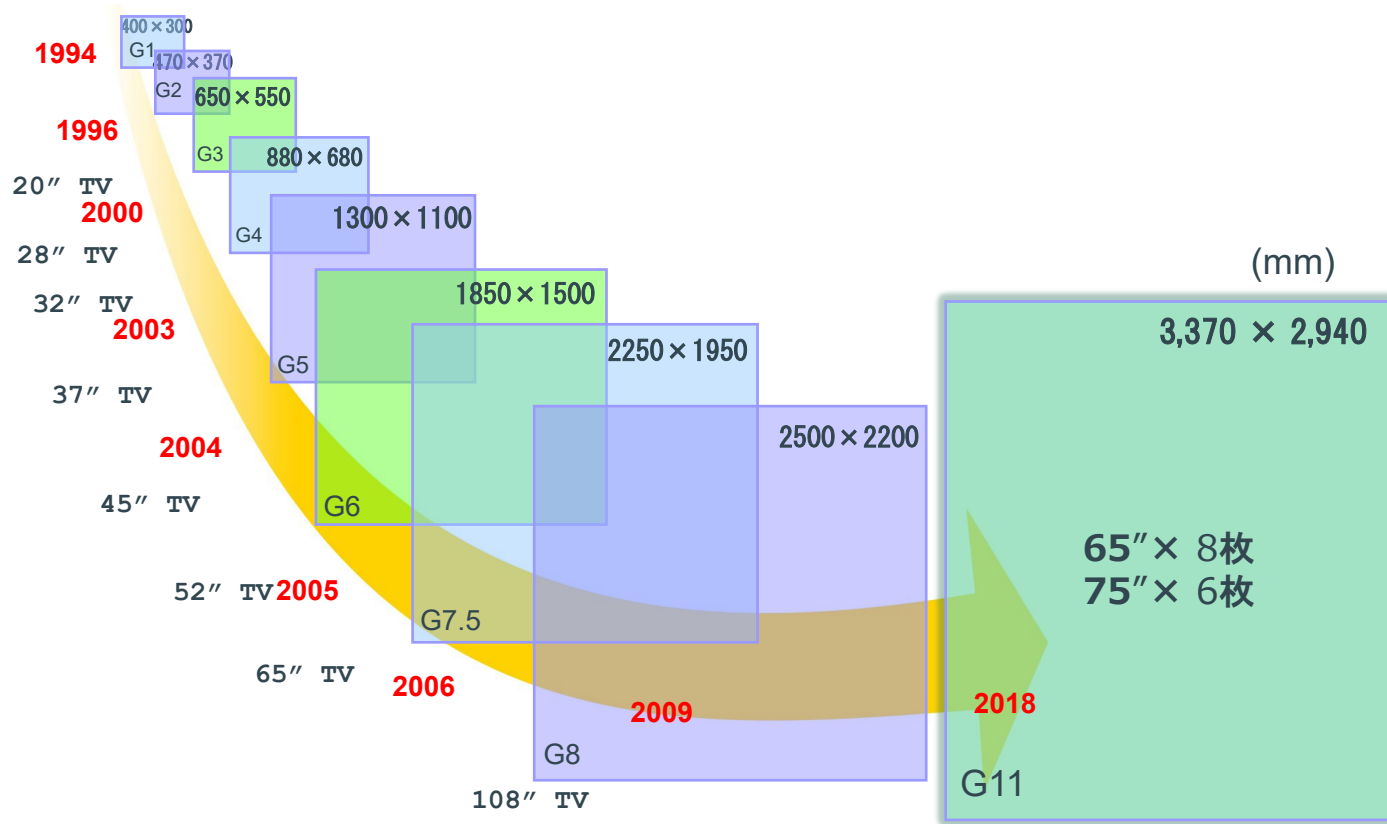


フロート法は有効幅が大きく、大型のディスプレイ用ガラス基板を同時に複数枚採板可能です。

採板イメージ



TFT液晶／有機EL用ガラス基板サイズの変遷



Dragontrail® シリーズ

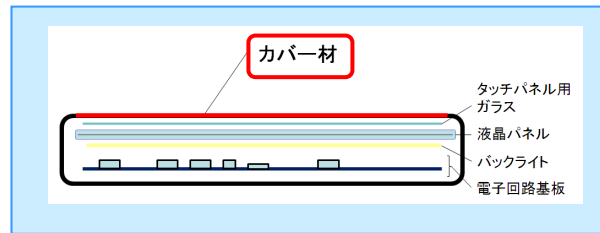


スマートフォン、タブレット、PCなどの電子機器用カバーガラス向け化学強化用特殊ガラス

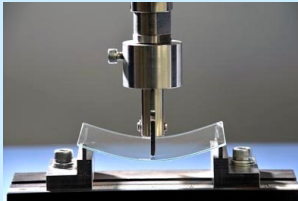
タッチパネル搭載端末の構造

<AGCの強み>

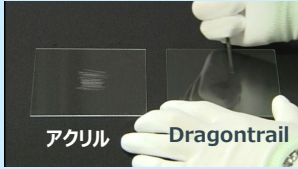
- 一般的なソーダライムガラスでは得られない強度、樹脂では得られない優れた耐傷性と高い質感を有する。
- フュージョン法など他の製法と比較し、生産効率が高いフロート法で製造。



Dragontrail®シリーズの特徴



強度試験
(3点曲げ試験：
ガラス板厚1.1mm)

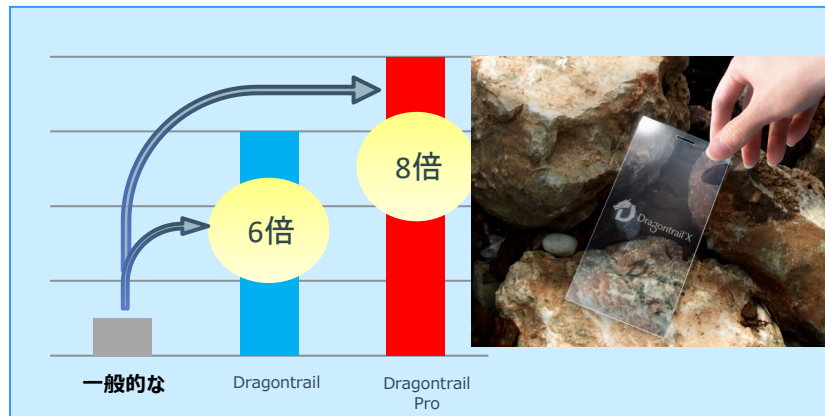


耐傷性試験
(アクリル樹脂との比較)

アクリル Dragontrail

Dragontrail®シリーズの強度

*同じ厚さでの比較



高品質ソーダライムガラス“AS2”は、各種表示デバイスや電子機器のさまざまな部分でご採用頂いています。生産効率が高いフロート法で製造し、量産板厚は0.23～1.1mm厚と、多様なラインナップを揃えており、幅広いお客様のニーズにお応えします。



- TN・STN-LCD用

LCD(液晶)パネル用の基板として、高い歩留りの実現に貢献しています。



- カバーガラス用

タブレット、PC、車載ディスプレイ、産業用デバイス等の汎用機種向け化学強化用カバーガラスとしてご採用頂いています。

100円玉と0.23mmタッチパネル用ガラス



- タッチセンサー用

ガラスの熱安定性を生かし、車載ディスプレイ向け等のタッチセンサーにご採用頂いています。

2023年12月現在

製品	製造拠点	地域
TFT液晶／有機EL用ガラス基板	関西工場（尼崎事業所）	日本
	AGCディスプレイガラス米沢	日本
	AGCディスプレイガラス台湾	台湾
	AGCファインテクノ韓国	韓国
	AGCディスプレイガラス・オチャン	韓国
	AGCディスプレイガラス昆山	中国
	AGCディスプレイガラス深圳	中国
	AGCディスプレイガラス惠州	中国
	AGCアドバンストディスプレイガラス深圳	中国
化学強化用特殊ガラス	関西工場（高砂事業所）	日本
	艾杰旭精細玻璃（深圳）	中国
高品質ソーダ石灰ガラス	AGCフラットガラス・タイランド	タイ

電子

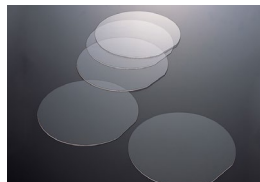
—電子部材—



合成石英

半導体プロセス用の高純度・高品質・高機能ガラス

<製品名>
合成石英ガラス AQシリーズ



人工水晶

レーザー照射に対して高耐久性を誇る

<製品名>
高耐久性人工水晶 CQ



炭化ケイ素 SiC

高純度・高強度・低熱膨張のセラミックス

<製品名>
ロイセラム®-HS



CMPスラリー

CMPプロセスに対応したスラリー+研磨リムーブメントを提供

<製品名>
セリア系CMPスラリー



EUV露光用フォトマスク ブランクス

EUVリソグラフィ技術に必要な消耗部材

<製品名>
EUV露光用フォトマスクブランクス

使用用途 ・半導体/液晶露光用レンズ ・フォトマスク基板 ・光学部材 ・ガラスウェハ

使用用途 ・プリズムの材料など

使用用途 ・半導体製造装置用部材 ・LED製造装置用部材 ・太陽電池製造装置用部材 ・精密光学機器用構造部材

使用用途 ・半導体前工程(ウェル工程)、後工程(パッケージ工程)用各種研磨

使用用途 ・EUVリソグラフィ

特徴 ・高透過率 ・低コンパクション・レアフクション特性、低複屈折率 ・高耐熱性、耐久性 ・低熱膨張率 ・高均質性、超高純度、極低金属不純物含有 ・低OH基含有率 ・高耐薬品性、低誘電損失
--

特徴 ・従来の人工水晶に比較して、レーザー照射による劣化を1/5～1/6以下に抑制し、半導体露光装置などに用いられる高強度なレーザーに対する耐光性を大幅に改善

特徴 ・高純度・高強度・低熱膨張という特長をもち、耐酸性・耐熱性に優れる ・主に高温で使用される半導体製造装置の部材として、30年以上の実績

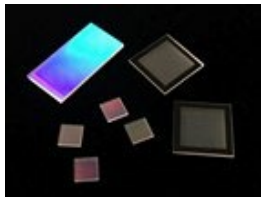
特徴 ・研磨砥粒の設計・製造 ・ガラス用研磨剤の技術蓄積 ・各種解析、化学薬液の設計・製造 ・研磨剤評価技術

特徴 ・長年培ってきた技術・知見により高純度の基板を生産 ・特殊な研磨法を開発し、基板+研磨の一貫生産により超高平坦化を実現 ・高精細化に合わせた最適な膜設計能力と、欠点低減を実現する成膜技術でお客様要求に対応



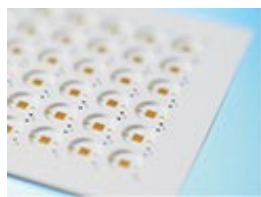
高屈折率ガラス

次世代ディスプレイに使われる
ガラス基板
<製品名>
高屈折率ガラス基板



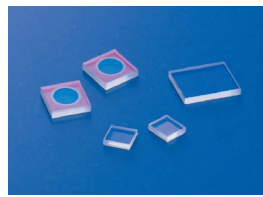
DOE・ガラス拡散版

高性能・高信頼性・高耐光性を
実現するガラス微細光学素子
<製品名>
回折光学素子(DOE)・ガラス拡
散版



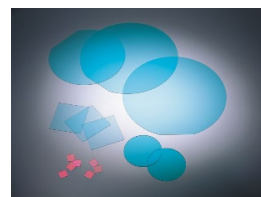
ガラスセラミックス基板

LED・半導体レーザーの輝度と
出力向上に寄与するガラスセラ
ミックス基板
<製品名>
GCHP®



プレーナー光素子

光関連機器の性能、設計自由
度を大いに高める光学素子
<製品名>
マイクロレンズアレイ・透過型回折
格子・波長板素子



赤外線吸収ガラスフィルター

デジタルカメラ用視感度補正
フィルター
<製品名>
NFガラスフィルター

<p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"> AR/MR(スマート)ガラス向け 導光ガラス基板 車載ヘッドアップディスプレイ向け 導光ガラス基板 	<p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"> センシング、セキュリティ AR/VR/MR プロジェクター、通信、照明 レーザー加工 	<p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"> 可視光LED、赤外線LED、 紫外線LED 半導体レーザー 車載照明 	<p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"> CD/DVD/Blu-Rayの光ピック アップ 光イメージング機器 光通信機器 	<p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル一眼レフカメラ、コンパクト カメラ、スマートフォンカメラ、車 載カメラ、監視カメラ等
<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 屈折率が高い 内部透過率が高い 高平坦性 高い表面平滑性 熱的及び化学的安定性が高い 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計・加工・評価のワンストップ 体制 材料と微細加工技術を活かし た高性能設計 低0次光、高効率、高耐久性 広角化の対応が可能 多点 マルチレベルの加工 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラス素材から最終基板まで 一貫生産 紫外線～赤外線まで幅広い 範囲での高い反射率 高い放熱性 3次元回路のダウサイジング 高信頼性(無着色) 高い気密性 ハンダクラック抑制 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ホログラムや回折格子による光 制御 お客様のご希望に応じたカスタ ム設計 独自の偏光制御技術による 高効率な偏光ビームスプリッター 機能の実現 オリジナル設計と高精度な微細 加工 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 吸収型による優れた画質 ゴースト・フレアを低減 分光透過率の入射角依存性が 小さい ガラス溶融から成形・加工まで の一貫生産 反射防止膜やUVIRカット膜、 ご要望の分光特性に合わせられ る幅広いラインナップ



非球面レンズ

光学機器の性能を向上させる
非球面ガラスレンズ

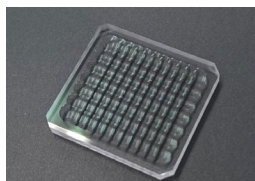
<製品名>
非球面ガラスモールドレンズ



非球面レンズ(カルコゲナイト®ガラス)

赤外線透過性に優れたカルコゲナイト®ガラスを素材とした非球面ガラスレンズ

<製品名>
カルコゲナイト®ガラス非球面レンズ



マイクロレンズアレイ

単レンズが縦横に配列された
光学素子(レンズアレイ)

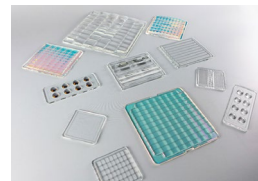
<製品名>
マイクロレンズアレイ



非球面ガラスモールドレンズ

耐熱・耐候・耐久性に優れた、
ガラスモールドレンズ製品

<製品名>
ガラスモールドレンズ(非球面・球面)



フライアイレンズ・レンズアレイ

耐熱・耐久性に優れた、ガラス
モールドレンズ製品

<製品名>
フライアイレンズ・マルチレンズアレイ

使用用途
<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラ、監視カメラ、車載カメラ プロジェクター センシング機器

特徴
<ul style="list-style-type: none"> レンズ形状：両凸、メニスカス(凸、凹)、両凹、トロイダル、等 タイプ：単レンズ、接合レンズ(2枚接合、3枚接合) サイズ：φ1～φ48.5mm 特殊加工：Iカット、Dカット、矩形カット、等

使用用途
<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラ ナイトビジョン用(車載)カメラ 赤外線分析機器

特徴
<ul style="list-style-type: none"> ガラス素材の持つ高い赤外線透過性を生かしたレンズが実現可能 レンズ表面には高機能な反射防止膜が付加可能 レンズ表面には回折格子機能が付加可能

使用用途
<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラ、ライトフィールドカメラ プロジェクター その他光拡散制御機器

特徴
<ul style="list-style-type: none"> サブミクロンレベルの高い形状精度のレンズが形成可能 高い精度で様々な間隔のレンズ配置(アレイピッチ)が可能 片面アレイ、両面アレイのいずれについても作製可能

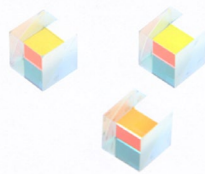
使用用途
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクタ用フライアイレンズ コンデンサレンズ レーザー照明用マルチレンズアレイ 照明用非球面レンズ

特徴
<ul style="list-style-type: none"> 高輝度プロジェクタに必要な高対候性のあるホウケイ酸ガラスを精密金型加工技術、成形技術によって高精度なレンズを実現



反射防止膜

表面反射を抑制し、透過率の向上を図る
 <製品名>
 反射防止膜



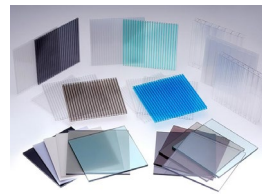
ビーム・スプリッター

任意の波長を選択し、偏光成分を分離させることができる
 <製品名>
 ビーム・スプリッター



干渉フィルター

入射角度依存による、透過と反射の調整が可能。幅広い波長領域にて作製可能
 <製品名>
 ダイクロイックミラー／フィルター



ポリカーボネートシート

加工性に優れ、軽量で燃えにくく、強靱な透明材料
 <製品名>
 カーボグラス®、ツインカーボ®等



ポリカーボネートフィルム・薄板

耐衝撃性や難燃性に優れたフィルム状のポリカーボネート
 <製品名>
 カーボグラス®、エクスキュア®

<p>使用用途 ・レンズを使用する製品、加工機器、医療計測機器等</p>	<p>使用用途 ・半導体・液晶露光装置、レーザー干渉計、計測機器等</p>	<p>使用用途 ・カラーテレビカメラ、液晶プロジェクター、写真用カラー引伸機、カラーファックス、照明、その他光学系等</p>	<p>使用用途 ・建築資材、産業資材 ・インテリア、エクステリア 等</p>	<p>使用用途 ・自動車、家電、事務機器などの部品 等</p>
<p>特徴 ・単層または多層の誘電体膜を光学材料の表面に形成することにより、表面での光の反射を防ぎ、透過率を向上させる</p>	<p>特徴 ・単入射光の一部を反射し、また一部は透過させる。また、p、s偏光成分を分離することも可能 ・キューブ型とプレート型の2型</p>	<p>特徴 ・屈折率のそれぞれ異なる誘電体の多層膜により、2つ以上の波長領域の光を分離。その作用により特定の色彩を取り出すことが可能。</p>	<p>特徴 ・耐衝撃性が高い ・軽量 ・燃えにくい ・加工・成形が容易 ・使用温度範囲が広い</p>	<p>特徴 ・耐衝撃性に優れる ・スクリーン印刷に優れ、UVインキ密着性が高い ・透過性に優れ、印刷インキの色を忠実に表現 ・優れた耐熱／耐寒性 ・電気絶縁性 ・熱成型や型抜き、断裁等の加工が容易</p>

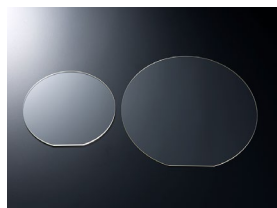


粉末ガラス・ペースト・低温気密防止部材

絶縁、気密封着など、エレクトロニクス分野向けの材料

<製品名>

ガラスフリット・ペースト／低温気密防止部材



陽極接合用ガラス基板

シリコンに極めて近い膨張係数を有するガラス

<製品名>

SWガラス基板



組織培養製品

信頼の「IWAKI」ブランド細胞培養用プラスチック製品

<製品名>

組織培養用製品



理化学実験用ガラス製品

高品質な理化学実験用耐熱ガラス製品

<製品名>

理化学実験用ガラス製品



耐熱ガラス食器

下ごしらえ・調理・食卓・保存まで毎日使える耐熱ガラス食器

<製品名>

iwaki耐熱ガラス食器

使用用途

- 電子デバイス（接着、封止、コーティング、焼結助剤）
- チップ部品（コンデンサ、インダクタ、MEMS）

特徴

- 粉末、ペースト、成形体とさまざまな形態にて製品の提供が可能

使用用途

- MEMS基板用ケルバムパッケージ
- 圧力センサ、加速度センサ、車載用各種センサ、産業用各種センサ
- LD/UVC-LEDパッケージ

特徴

- 広い温度範囲にわたってシリコンと極めて近い熱膨張特性を有し、陽極接合によってシリコン基板と強固に接合可能
- 基板上へのメタルコートやエッチングによる貫通孔並びに座グリ加工も可能

使用用途

- 創薬研究
- 再生医療研究
- 細胞生物学の様々な研究

特徴

- 厳しい品質管理
- 汎用製品の他、特定の機能を持たせた独自製品を販売
- 各種培養表面を持つ培養容器
- ディッシュやプレート類の培養容器は、掴みやすい形状

使用用途

- 化学分析
- 品質管理
- 環境測定

特徴

- 低膨張のホウケイ酸ガラス素材で、耐熱性・耐薬品性・透明性に優れる
- 長年の溶解成形加工技術の蓄積により、多種多様な形状のガラス製品をラインナップ

使用用途

- キッチン用品
- テーブルウェア

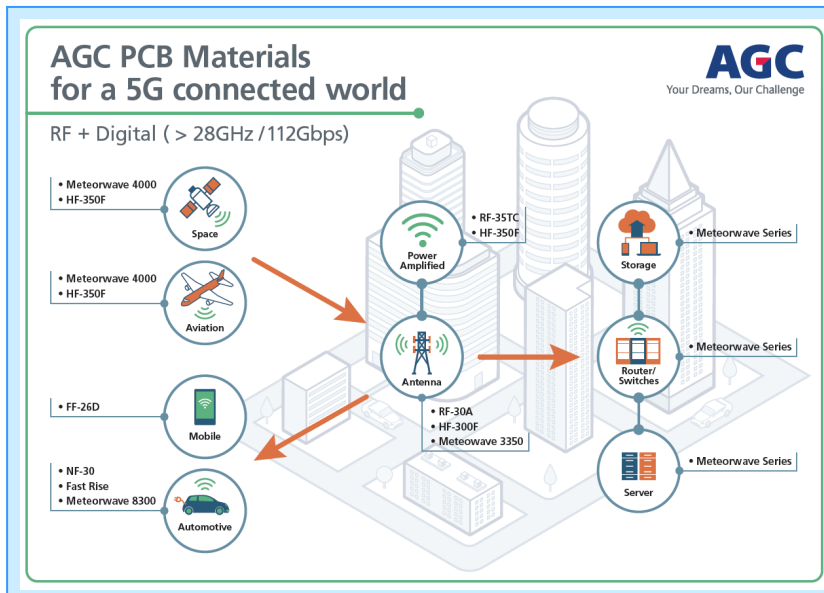
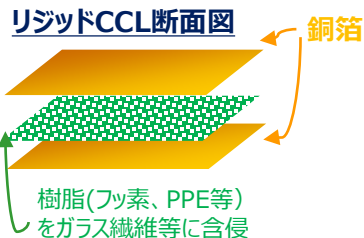
特徴

- 耐熱性に優れ、オープン・電子レンジ等での調理、食器洗浄乾燥機の使用が可能
- 耐候性に優れているため、汚れが落ちやすく、匂いも移りにくい
- 耐薬品性に優れ、酸やアルカリ成分など食品からの影響を受けない

一般名	代表的な製品群	製品説明
銅張積層基板用材料	Meteorwave [®] シリーズ	銅箔とPPE系絶縁樹脂から構成されるプリント基板材料。 優れた電気特性を有し、且つ加工性にも優れ、高速通信、自動運転Radar用途に展開。
	PTFE シリーズ	銅箔とPTFE系絶縁樹脂から構成されるプリント基板材料。 優れた電気特性を有し、且つ加工性にも優れ、自動運転Radar用途等に展開。
	ハイドロカーボン シリーズ	銅箔と炭化水素系絶縁樹脂から構成されるプリント基板材料。 優れた電気特性を有し、安定性にも優れ、アンテナ・基盤用途に展開。
産業用PTFE複合材料	ファブリック シリーズ	ガラス繊維等の基材にPTFE樹脂を含浸した製品。 広い温度範囲での使用を可能とし、優れた耐薬品性や非粘着性を有し、太陽電池積層や食品加工などの用途に展開。
	テープ シリーズ	高機能性素材の表面にシリコン系もしくはアクリル系粘着剤を塗布した製品。 優れた耐熱性や電気絶縁性、非粘着性を有し、FPCB/LCD加工プロセスや二次電池の離型用途や絶縁用途に展開。
	ベルト シリーズ	PTFEコーティングファブリックを使用してベルト状にエンドレス加工した製品。 優れた剥離性、耐薬品性を有し、広い温度範囲で粘着性素材の搬送や連続処理が可能で、はんだ付けベルトや印刷乾燥、食品加工ベルトなどの用途に展開。
	アーキテクチャ シリーズ	薄いガラスクロスにPTFEをコーティングした大型建築用膜材製品。 優れた耐候性や準難燃性、透光性、セルフクリーニング性を有し、屋根材料、天井材料、内装材料といった建築用途に展開。
	コンポジットフィルム シリーズ	ポリイミド (PI) フィルムの片面又は両面にPTFE又はFEPなどのフルオロポリマー樹脂を塗布した製品。優れた耐熱性や耐薬品性、電気絶縁性、離型性に優れており、電子部品や半導体製品、燃料電池生産プロセスの離型用途などに展開。優れた耐久性のため、使い捨てせず再利用も検討可能、廃棄物の低減に寄与。

<AGCの強み>

- デジタルからRF領域までの幅広い製品ラインナップ。
- 材料開発、樹脂コーティング技術、電気特性評価技術、各種解析技術に強み。
- AGCは2018年～2019年にPark Electrochemical社及びTaconic社からCCL事業等を買収。グローバルな生産、営業対応でお客様の要望にお応えします。



- CCLとは、銅箔と絶縁樹脂から構成されるプリント基板材料。
- 民生通信（基地局、サーバーなど）、自動車（ミリ波レーダーなど）、航空宇宙（衛星通信など）など、次世代高速通信（5G・6G）の分野での用途が見込まれている。

<AGCの強み>

- 一般産業から先端機能材料や新エネルギー領域までの幅広い製品ラインナップ及び用途展開。
- 独特な樹脂コーティング技術、性能要求や様々な用途に対応可能なカスタマイズ開発力に強み。
- AGCは2019年にKorea Taconic社のIPD事業を買収。従来のKTC技術にAGCブランド力の相乗効果を発揮し、グローバルな営業対応でお客様の要望にお応えします。

IPDとは



- IPDとは、各種基材にPTFEを含浸させた複合材料の総称。産業用ファブリックやテープ、ベルトなどの製品。
- 独特なコーティング技術に、様々な用途や性能要求に応じてカスタマイズ設計可能な強みを持っている。

種類/用途

種類	用途							
	自動車等	航空	電子	新エネ	建築	食品加工	化学	一般産業
ファブリック	○	○	○	○		○	○	○
テープ		○	○				○	○
ベルト			○			○	○	○
アーキテクチャ					○			
コンジットフィルム	○	○	○					○

- 一般産業（食品加工や建築用途など）、電子や半導体（FPCB/LED/CMOSパッケージングプロセスなど）、航空（CFRP離型シート）、自動車（燃料電池スタックなど）、新エネルギー（太陽電池）の分野での用途が見込まれている。

各製品の主要製造拠点

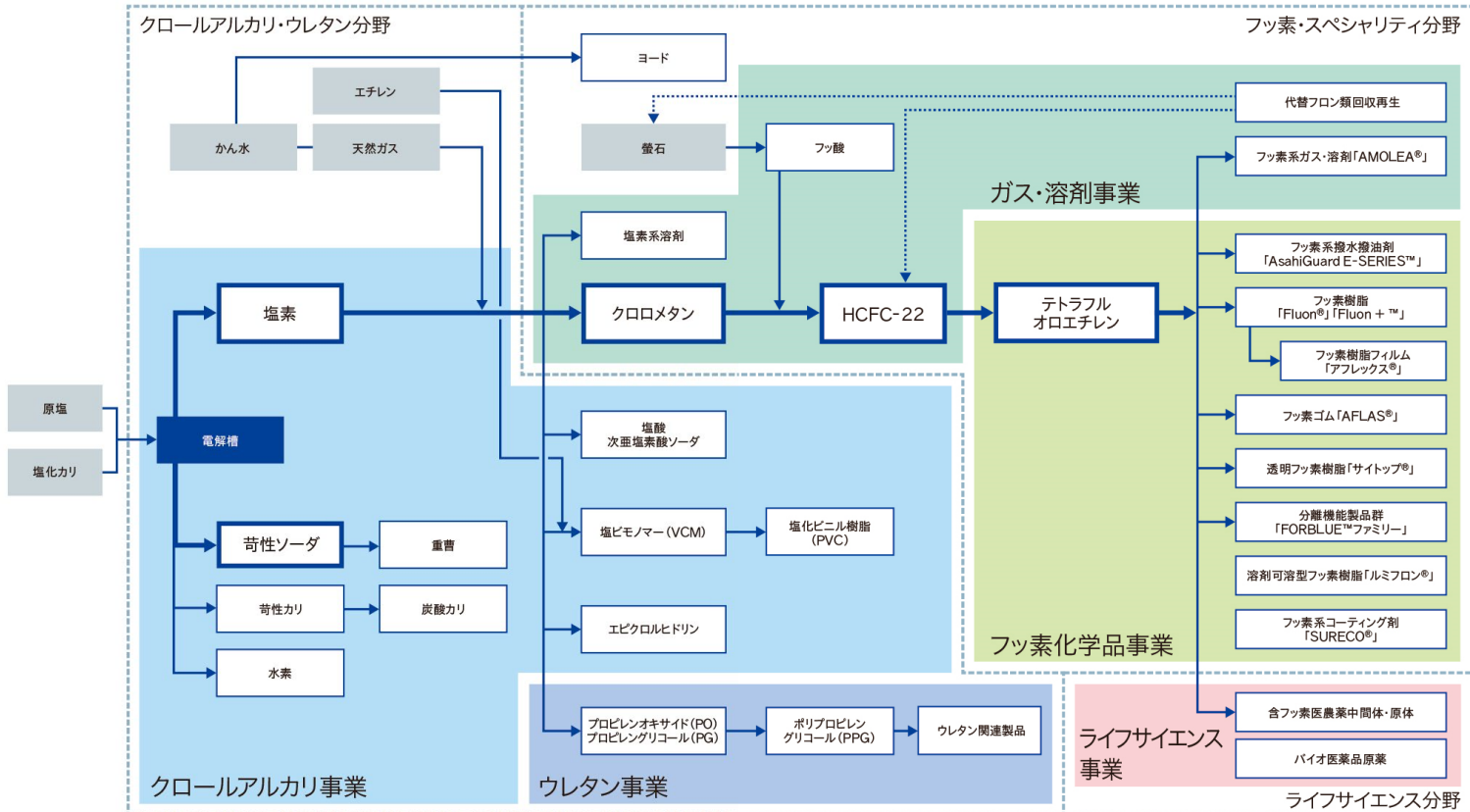
2023年6月現在

製品	製造拠点	地域
半導体プロセス用部材	関西工場（高砂事業所）	日本
	AGCエレクトロニクス	日本
	AGCセイミケミカル	日本
	AGCエレクトロニクス・アメリカ	アメリカ
カメラ用光学部材	AGCテクノグラス	日本
	AGCマイクロガラス	日本
	AGCマイクロガラス・タイランド	タイ
高出力LED・LD用ガラス、セラミックス基板	AGCエレクトロニクス台湾	台湾
ガラスモールドレンズ	AGCテクノグラス・タイランド	タイ
光学薄膜	日本真空光学	日本
ポリカーボネート	AGCポリカーボネート	日本
ガラスフリット・ペースト	AGCエレクトロニクス	日本
組織培養用製品	AGCテクノグラス	日本
銅張積層基板用材料	AGCマルチマテリアル・アメリカ	アメリカ
	AGCマルチマテリアル・シンガポール	シンガポール
	AGCマルチマテリアル・ヨーロッパ	フランス
銅張積層基板用材料、産業用PTFE複合材料	韓国タコニック	韓国

化学品

—エッセンシャルケミカルズ—

化学品事業のケミカルチェーン（事業内容と主要製品）



* ライフサイエンス事業は、2023年1月1日付 組織改正により化学品カンパニーからライフサイエンスカンパニーに移管。

エッセンシャルケミカルズの主要製品

一般名	製品用途
苛性ソーダ	化学薬品、化繊、紙・パルプ等
苛性カリ	化学薬品、炭酸カリ原料
炭酸カリ	食品添加物、洗剤原料
塩酸	無機薬品、鉄鋼、化学調味料
次亜塩素酸ソーダ	パルプ・繊維の漂白、水道水の殺菌
液体塩素	パルプの漂白、水道水の殺菌
塩化ビニルモノマー	塩化ビニル樹脂原料（VCM）
塩化ビニルポリマー	塩化ビニル樹脂（PVC）
トリクロロエチレン／パークロロエチレン	工業用洗浄剤、ドライクリーニング用溶剤、フッ素系ガス原料
塩化メチル/メチレン	シリコン樹脂/工業用洗浄剤、医農薬の抽出溶媒、塗料剥離剤
クロロホルム	フッ素系製品原料
エポキシヒドリン	エポキシ樹脂
プロピレンオキサイド	プロピレングリコール、ジプロピレングリコール及びポリオールの原料、非イオン界面活性剤の原料
プロピレングリコール	不飽和ポリエステル樹脂及び可塑性剤の原料、界面活性剤、不凍液、冷却液、食品添加物、香料、タバコ、歯磨、化粧品、医薬品
ポリオール	硬質、軟質ウレタンフォーム、コーティング、接着剤、シーリング剤、イラストマー
重曹	食品、医薬品、浴剤、工業用

- 塩を電気分解すると苛性ソーダと塩素が生産されます。
- 苛性ソーダは、工業用アルカリ製品として幅広い用途に使用されます。
- 塩素は様々な製品に加工され、代表的なものとして塩化ビニル樹脂（PVC）があります。



基礎化学品の原料となる原塩



AGCのイオン交換膜（フレモン膜）が
使用されている電解槽設備

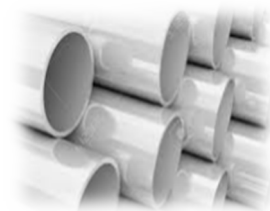
苛性ソーダ

- ✓ パルプ・紙
- ✓ アルミの抽出
- ✓ 石鹼・洗剤
- ✓ 下水道中和



塩化ビニル樹脂

- ✓ 塩化ビニルパイプ
- ✓ 窓サッシ



- ポリプロピレングリコール（PPG）は、ウレタン用途には欠かせない主原料です。
- 当社はPPGの原料であるプロピレンオキシド（PO）からポリプロピレングリコール（PPG）までを一貫生産しており、安定して不純物の少ない高品質なPPGの提供が可能です。
- PPGの応用製品として高機能品として、変性シリコーン等も生産しています。
- また、当社は環境負荷低減につながる製品も提供しており、地球温暖化係数の高いフロンガスを使わずに成型することが可能な水発泡に適したPPGや、環境対応型新冷媒HFOに対応したPPGなども生産しています。



- 生活用品から医薬品や先端技術の分野まで、用途は多種多彩です。
- 重曹の国内最大手メーカーのAGCは、ますます広がるニーズに応じてグレードをきめ細かく揃え、新しい製品の開発にも力を注いでいます。

活用事例	
工業洗浄	重曹プラスト洗浄剤、化学洗浄新システム
排ガス処理	排ガス処理用高反応中和剤
医療	胃腸薬（制酸剤）、人工腎臓透析用剤
生活用品	各種クリーナー、入浴剤、脱臭剤
食品	ベーキングパウダー原料、飲料用PH調整剤
農業・畜産業	配合飼料用原料、動物薬、農薬原料
土木・建設	水ガラス系土壌硬化剤
工業	消火剤原料、金属表面処理剤、中和剤



<アクレシア®>

HCL、SOx、硫酸ミストや硫酸ミストなど、排ガス中の酸性成分を効率よく除去する、排ガス処理用高反応中和剤

クロールアルカリ・ウレタン事業の主要製造拠点

2023年8月現在

製品	製造拠点	国名
苛性ソーダ (200万トン)	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
	北海道曹達	日本
	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ
苛性カリ (13万トン)	千葉工場	日本
	AGCビニタイ	タイ
炭酸カリ	千葉工場	日本
	AGCビニタイ	タイ
塩酸	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
	北海道曹達	日本
	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ
次亜塩素酸 ソーダ	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
	北海道曹達	日本
	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ

製品	製造拠点	国名
液体塩素	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ
塩化ビニルモノマー (150万トン)	京葉モノマー	日本
	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ
塩化ビニル樹脂 (120万トン)	アサヒマス・ケミカル	インドネシア
	AGCビニタイ	タイ
	AGCケミカルズ・ベトナム	ベトナム
トリクロロエチレン パークロロエチレン	千葉工場	日本
塩化メチル	鹿島工場	日本
塩化メチレン	千葉工場	日本
クロホルム	千葉工場	日本
エピクロルヒドリン (17万トン)	鹿島ケミカル	日本
	AGCビニタイ	タイ
プロピレンオキシド (11万トン)	鹿島工場	日本
プロピレングリコール (4万トン)	鹿島工場	日本
ポリオール (8万トン)	鹿島工場	日本
重曹 (5万トン)	鹿島工場	日本

化学品 —パフォーマンスケミカルズ—

パフォーマンスケミカルズの主要製品

一般名	代表的な製品名	製品用途
フッ素樹脂	Fluon® Fluon+™	電線の被覆材、フィルム、チューブ、フィラメント、ライニング・シール材、次世代高速通信機器用材料、改質剤、その他成型部品等
フッ素ゴム	AFLAS®	電線の被覆材、半導体・食品製造・石油掘削など各種高性能シール材等
フッ素樹脂フィルム	アフレックス® エフクリーン®	太陽電池用保護材・エレクトロニクス関連用離型フィルム 膜構造建築物用材料・内外装用保護材 温室の被覆材
透明フッ素樹脂	CYTOP®	半導体エレクトロニクス関連材料
塗料用フッ素樹脂	ルミフロン®	建物外装、橋梁、プラント、航空機等
撥水撥油剤	AsahiGuard® E-SERIES	衣料、インテリアを含む各種繊維製品・各種紙製品等
イオン交換膜	FORBLUE™ フレミオン® FORBLUE™ Sシリーズ FORBLUE™ セレミオン® FORBLUE™ サンセップ®	食塩電解用イオン交換膜（苛性ソーダ/苛性カリ/塩素 製造用） 水電解、レドックスフロー電池、各種電解及び透析用のイオン交換膜 酸回収、排水処理、脱塩又は濃縮、地下水脱塩などに使用するイオン交換膜 水蒸気選択透過性中空糸を搭載するガス除湿/加湿モジュール
燃料電池用フッ素系電解質ポリマー	FORBLUE™ iシリーズ	燃料電池車（FCV）の発電システム用部材等
フッ素系冷媒ガス	AMOLEA® 1234yf, AMOLEA® 1224yd	冷凍冷蔵機器や各種エアコンの冷媒、作動媒体、発泡剤
フッ素系溶剤	AMOLEA® AS-300 AMOLEA® AE-3000 AMOLEA® AC-6000	精密部品洗浄、リンス乾燥剤、水切り乾燥剤、希釈塗布溶媒、分散剤、熱媒体
フッ素系界面活性剤	サーフロン®	床ワックスなどのレベリング性向上、樹脂分散剤、樹脂表面改質
フッ素系コーティング剤	エスエフコート®	電子部品の防湿コート、オイルバリア、フラックス侵入防止、樹脂付着防止
シリカ	RESIFA™ M.S.GEL®、RESIFA™ サンスフェア®、 RESIFA™ サンラプリー®	液体クロマトグラフィー用充填剤、化粧品フィラー

パフォーマンスケミカルズ : フッ素樹脂 Fluon® ETFE

- フッ素の優れた特性を保持しつつ、容易な成形加工性を兼ね備えたフッ素樹脂です。主用途の輸送機器、電子、建築、エネルギー分野のほか、多様且つ特殊な産業分野で幅広く使用されています。
- 押出成形、射出成形、粉体コーティングが可能です。電線被覆、チューブ、コーティング材料など、耐熱性、耐薬品性、絶縁性等が要求される厳しい使用環境で活用されています。
- ETFEはフィルム加工も容易で、膜構造物材料や様々な分野の離型フィルムとして活用されています。





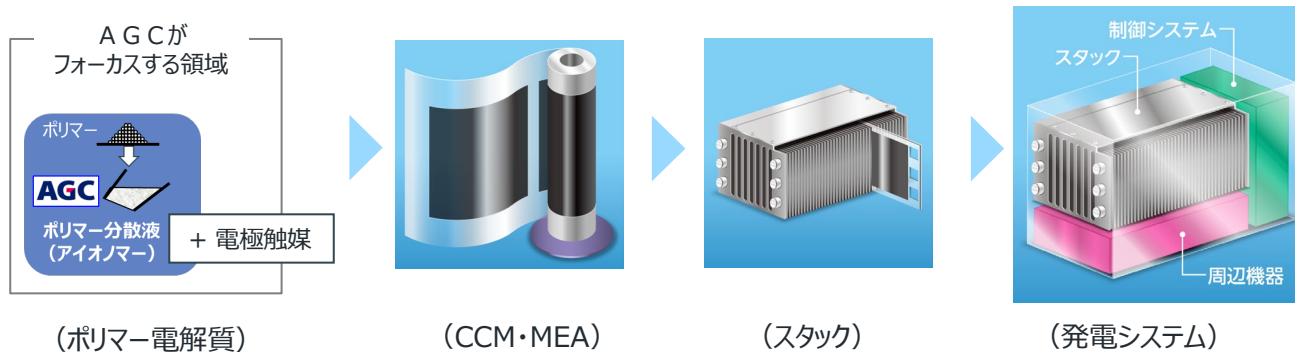
- AMOLEA®は、冷媒や溶剤としての性能はそのままに、地球温暖化係数を大幅に低減することをコンセプトに開発された次世代冷媒・溶剤ブランドです。
- 現在は用途毎に下記3つの製品を展開しています。

一般名	製品名	主用途
環境対応型新冷媒	AMOLEA® 1234yf	自動車空調、冷凍冷蔵機器用冷媒
環境対応型新冷媒	AMOLEA® 1224yd	ターボ冷凍機用冷媒、作動媒体、発泡剤
環境対応型新フッ素系溶剤	AMOLEA® AS-300	各種洗浄剤、溶媒

- 開発中のAMOLEA® 1123混合冷媒は、冷凍能力を大幅に改善し、冷媒性能と低GWPを両立する次世代冷媒の本命候補です。家庭用・業務用空調及び電気自動車空調用途を中心に市場成長を牽引する、AGC独自技術の冷媒として期待が懸かっています。冷媒としてオーソライズされるASHRAE（米国暖房冷凍空調学会）登録完了を2023年に予定しています。

燃料電池用フッ素系電解質ポリマー（PEMFCアイオノマー）

- 燃料電池に欠かせない電解質膜及び電極用にフッ素系電解質ポリマー（PEMFCアイオノマー）を供給しています。
- 燃料電池車（FCV）の普及、水素社会実現に向けた技術発展により、需要拡大が加速しています。
- AGCは高発電性能と耐久性を両立させ、圧倒的No.1ポジションを確立しています。

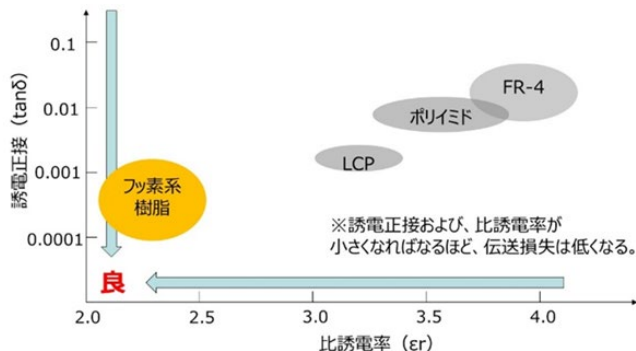


- 次世代高速通信環境対応「接着性フッ素樹脂」です。
 - 低誘電率・低誘電正接を特徴とする低伝送損失のフッ素樹脂 Fluon+™ EA-2000
 - 既存フッ素樹脂の概念を覆す良好な接着性・分散性をプラス
 - 本製品を用いたプリント基板は、既存材料に比べて伝送損失を30%以上低減可能

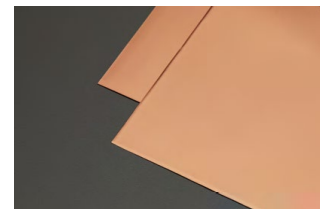
■ Fluon+™ EA-2000に適したプリント基板/フレキシブルプリント基板用途

・自動車レーダー、5G対応スマートフォンのフレキシブルプリント基板、ミリ波帯対応機器

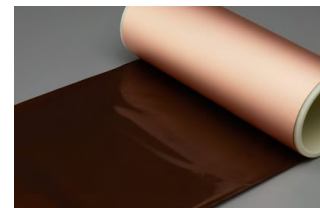
■ 誘電率と誘電正接



出典：「日経エレクトロニクス2017年8月号」を元に当社が編集



Fluon+™ EA-2000/PPE積層CCL



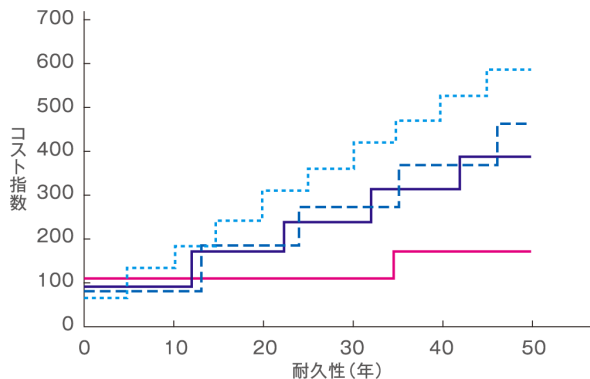
Fluon+™ EA-2000コートRCC

- AGCのフッ素技術により、1982年に商品化された世界初の溶剤可溶型塗料用フッ素樹脂です。
- フッ素樹脂の化学的安定性により、従来の塗料に比べ格段に優れた耐候性を示します。
- 発売から40年以上を経過し、20万件以上の実績が、その信頼性を裏付けています。



■ 総合経済性比較

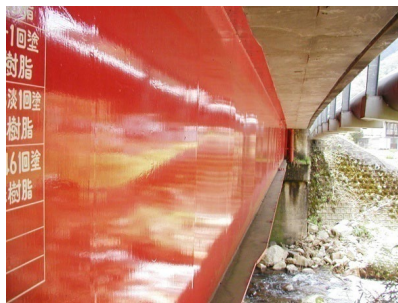
抜群の耐候性により
ライフサイクルコストの削減を実現



■ 実橋によるルミフロン®の耐候性試験



ルミフロン® 未塗布の橋脚（16年目）



ルミフロン® を塗布した橋脚（21年目）

■ 「ルミフロン®」の施工例



ピンアンファイナンスセンター



明石海峡大橋

- AGCが独自に開発し 2006年世界で初めて発売された環境対応型フッ素系撥水・撥油加工剤です。
- 繊維用、紙用、不織布用の製品をラインナップしています。



活用事例	
生活、衣類	傘、衣類、スポーツウェア、作業着（ユニフォーム）等
建築、住環境	カーテン、ソファー、テーブルクロス、屋根防水シート、エアフィルター、壁紙、カーペット等
食品包装容	食品包装、ファーストフード包装、クッキングシート等
自動車、産業資材	カーシート、吸音材、オイルフィルター、カーワックス、ガラス撥水加工等
医療、衛生	手術着、白衣、マスク、シーツ等



■撥水加工された布

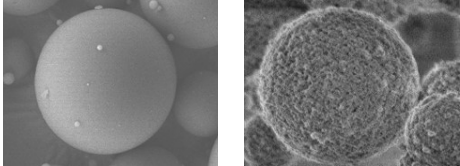
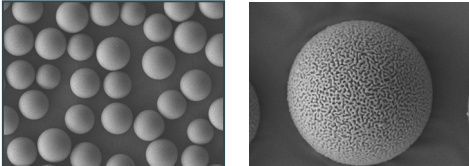
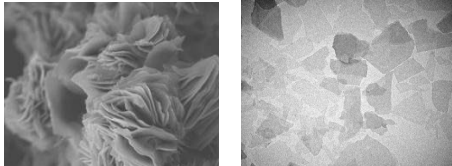
- AGCエスアイテックは、長年に亘り**化粧品、工業、医薬品向け**等様々な用途に適したシリカ製品を提供しています。
- 「シリカ」はその自然由来という特性から、**環境負荷低減に貢献する素材**として注目を集めています。近年では、海洋への流出により生態系への影響が懸念される**マイクロプラチックの代替**や、**新型コロナワクチンの一部精製用途**として活用されるなど、様々な**社会課題解決に貢献**しています。



シリカ製品の統合ブランド「RESIFA™」のコンセプト：

Recycle（自然を循環する）+ Silica（シリカで）+ Facilitate（お客様の夢の実現に貢献する）

RESIFA™の製品ラインアップ

SUNSPHERE®	M.S.GEL®	SUNLOVELY®
		
<p>用途</p> <ul style="list-style-type: none">・化粧品、制汗用フィラー・樹脂、フィルム用フィラー・機能性材料担持担体・触媒担持担体	<p>用途</p> <ul style="list-style-type: none">・HPLCカラム充填剤・医薬品、天然物の精製・機能性材料担持担体	<p>用途</p> <ul style="list-style-type: none">・コーティング用バインダー・親水性フィラー・機能性微粒子バインダー

パフォーマンスケミカルズの主要製造拠点

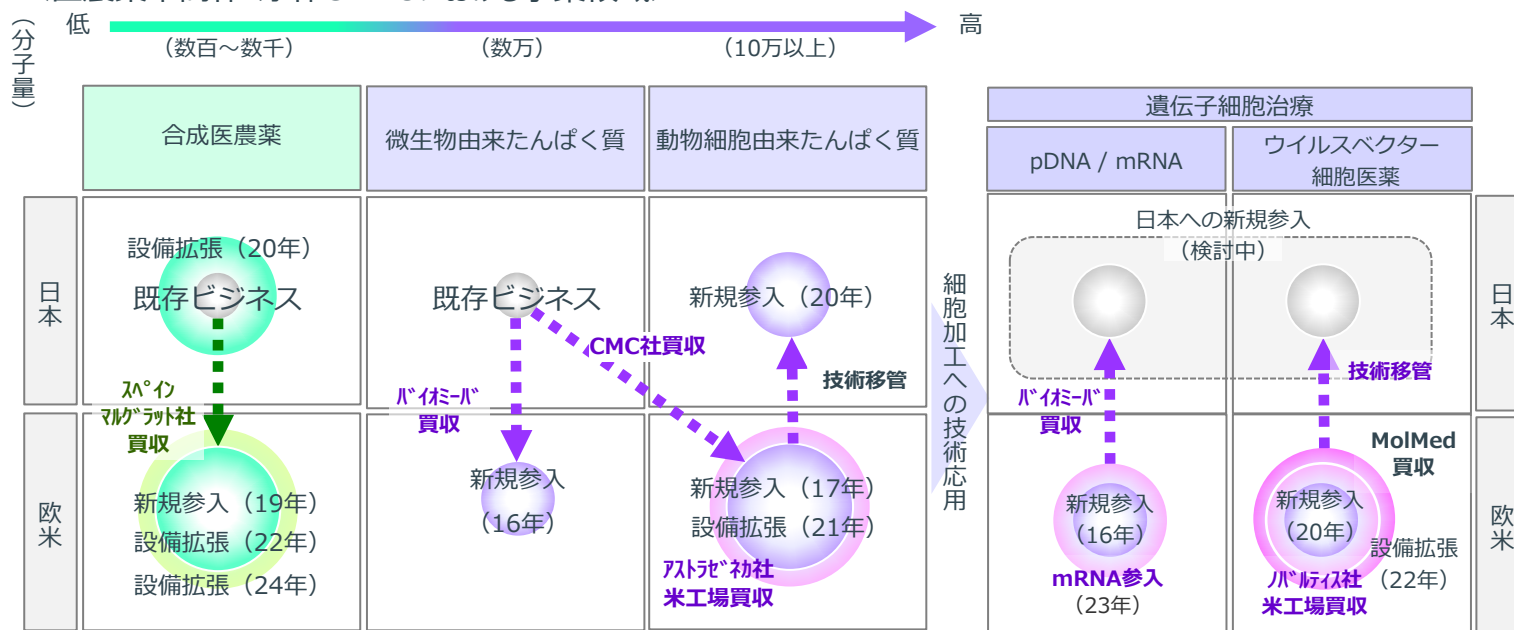
2023年3月現在

製品	製造拠点	国名
フッ素樹脂「Fluon®」「Fluon+™」	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
	AGCエンジニアリング	日本
	AGCケミカルズ・ヨーロッパ	イギリス
	AGCケミカルズ・アメリカ	アメリカ
フッ素ゴム「AFLAS®」	千葉工場	日本
フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」「Fluon® ETFE FILM」 施設園芸用フッ素樹脂フィルム「エフクリーン®」	千葉工場	日本
透明フッ素樹脂「CYTOP®」	鹿島工場	日本
塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」	千葉工場	日本
撥水撥油剤「AsahiGuard® E-SERIES」	千葉工場	日本
イオン交換膜「FORBLUE™フレミオン®」	千葉工場	日本
フッ素系ガス アサヒフロン22、AMOLEA®1234yf、AMOLEA® 1224yd	千葉工場	日本
フッ素系溶剤「AMOLEA® AS-300、アサヒクリンAE-3000・AC-6000」	千葉工場	日本
	鹿島工場	日本
フッ素系界面活性剤「サーフロン®」 フッ素系コーティング剤「エスエフコート®」	AGCセイミケミカル	日本
RESIFA™ M.S.GEL®、RESIFA™ サンスフェア®、RESIFA™ サンラプリー®	AGCエスアイテック	日本

ライフサイエンス

一般名	代表的な製品名	製品用途
合成医農薬中間体・原体、 バイオ医薬品	医農薬中間体・原体	医薬品中間体・原体、農業用中間体・原体

<医農薬中間体・原体CDMOにおける事業領域>



1. お客様ニーズに合致した生産体制

日米欧3極で高いレベルのcGMP生産体制のもと、幅広いサービスを展開

2. 商用医薬品の製造実績

高度な品質や技術開発力に基づく豊富な査察実績

3. 技術力

最先端の技術で製造開発の課題を解決

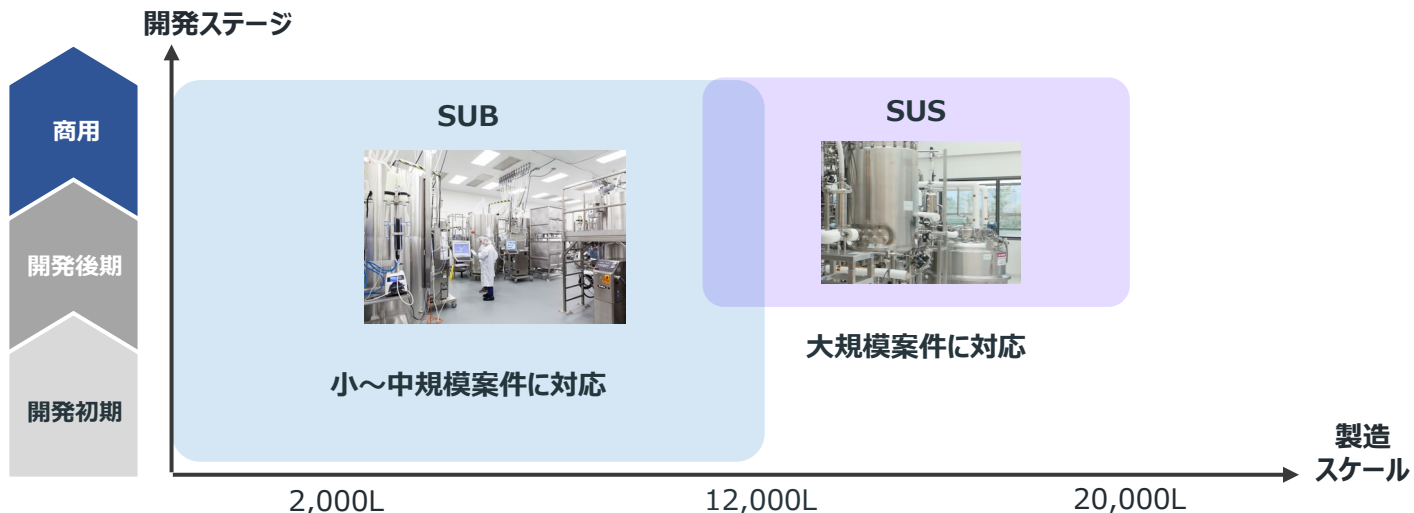
お客様ニーズに合致した生産体制

- ▶ 日本を主要拠点とする数少ないグローバルCDMOとして、
日米欧3極の高いレベルのcGMP生産体制のもと、治験から商用まで
化学合成/微生物/動物細胞/pDNA/遺伝子細胞治療など幅広いサービスを展開



<バイオ医薬品CDMO事業の強み>

- 少量多品種生産に最適なシングルユースバック(SUB) 技術のパイオニアとして、豊富な実績を基に高まる**少量生産ニーズへ対応**
- またSUBによる**6Pack™***およびボルダー工場のステンレス(SUS) の**大型培養槽**により、**中・大規模の案件まで柔軟に幅広く対応**
- **開発の進展で変わる生産規模のニーズに対し、開発初期から商用まで一貫したサービスを提供**



*6pack™: 最大6つまでSUBを連携し運転することで小～中規模の生産ニーズへの柔軟な対応を実現

新規事業 (次世代高速通信向けソリューション)

次世代高速通信の課題

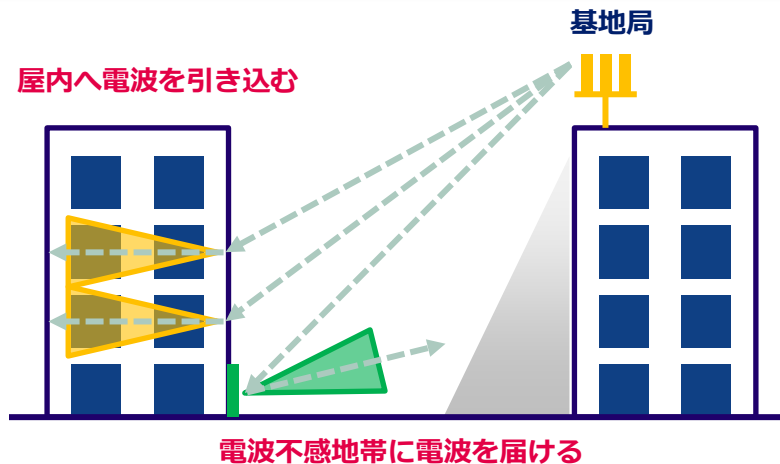
周波数が高くなるほど、電波が飛びにくくなる→基地局が多数必要
電波は回り込みにくくなり、減衰も大きくなる→屋内へ電波が届かない

AGCの開発コンセプト

超低損失材料

高意匠性

実装のしやすさ



基地局向け、端末向けにアンテナソリューションを展開

Outdoor

Outdoor

市中ポール実装型 アンテナ

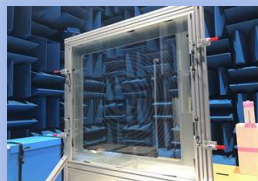


- 薄型・曲面設置可能なフレキシブルアンテナをポールに実装
- 基地局の省スペース化・デザイン性への貢献と、360°無指向性アンテナを実現

Outdoor

Indoor

メタサーフェス技術 窓ガラス電波レンズ



- 屋外から窓ガラスを通る微弱な電波を焦点に集めることで電力を高め、建物内の効率的なエリア化を実現

Indoor

Indoor

アクティブ リフレクター基板



- 広帯域なミリ波の入射角・反射角を電氣的に制御可能
- 同一基板によるプログラマブルな反射制御により、5G伝搬環境の様々なシーンにおけるカバレッジ向上に貢献

壁掛け薄型 Sub6アンテナ



- 従来のダイポールアンテナと比較して広帯域で高性能なMassive MIMOアンテナでありながら、軽量化、薄型化を実現する事で、アンテナ設置自由度を大幅に向上

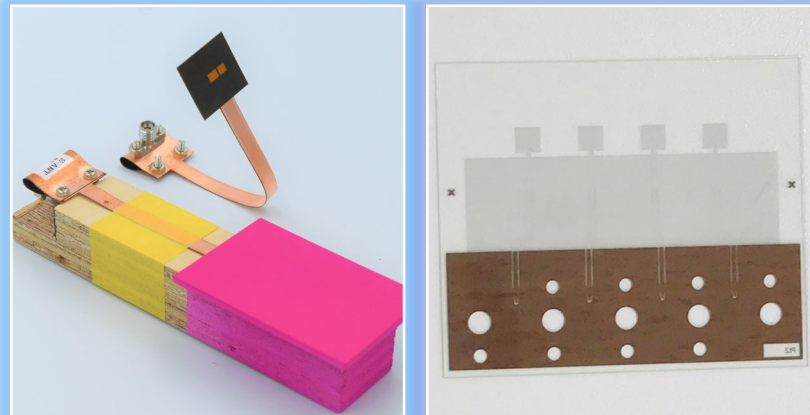
次世代高速通信の建物内外のエリア化に貢献するソリューションを開発

オートモーティブ向け



- 自動車用窓ガラスに実装することで、モビリティのデザイン性を損なうことなく、基地局との高速通信を実現

IT機器向け

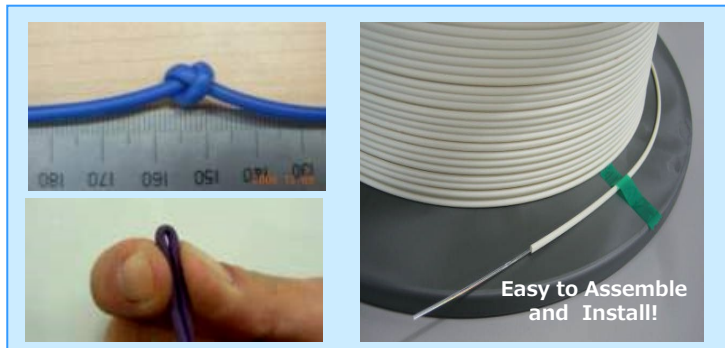
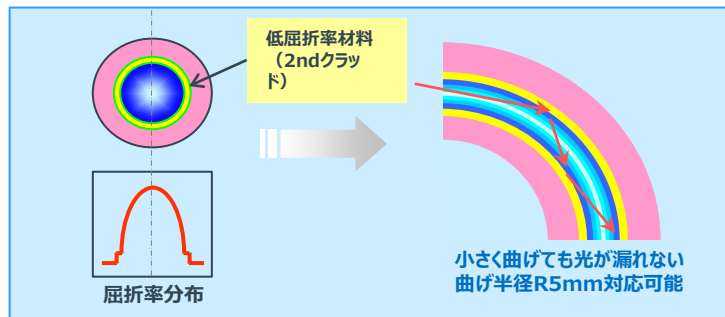


- 端末外装の電気特性をアンテナ設計に織り込み、伝送線路とのFPC一体成型により筐体形状に追従させることで、端末のデザイン性を損なわず、クルマ・ロボット・IT端末の高速通信を実現
- また微細配線でも十分な性能が出せるアンテナ設計技術と材料評価技術を組み合わせて、高精細なディスプレイの表示品位を阻害しない5Gミリ波透明アンテナも開発

モビリティやIT機器を、次世代高速通信で繋げるためのソリューションを開発

FONTEX® (フォンテックス)

FONTEX®のダブルクラッド構造



FONTEX

取扱性に優れ超高速通信可能な 民生用フッ素系プラスチックファイバーです。

- 高帯域10Gbps以上の大容量データ通信や、既存の石英系ファイバ、POFでは到底なし得なかった小さく折り曲げての通信が可能な世界初の光ファイバーです。
- ダブルクラッド構造により光をコアに閉じ込めることに成功しました（左上図）。プラスチックならではの「折れない」だけでなく、「結んでも折り曲げても通信可能」な断然優れた取扱性があります（左下図）。
- ファイバー外周に直接ケーブル被覆が密着したタイトコード構造を採用しているため（左下図）、安価かつ、端末処理作業が容易となり、誰でも簡単に取扱えます。
- 次世代4K-TVに必須とされる大容量データ通信に向け、乱暴な扱いや小さく曲げた状態でも通信可能で、一般家庭で安全に安心してご使用頂く事ができるプラスチック光ファイバー(POF)です。

セラミックス/その他

一般名	代表的な製品名	製品説明
電鋳耐火物	ZB-X950シリーズ	1,800℃以上の超高温で電気溶融し鑄造された高性能耐火物です。ガラス溶解炉のキーマテリアルとして、国内外の多くのお客様にご採用頂いています。
不定形耐火物	アサヒキャスター®/ GRAM	厳選された耐火性骨材を優れた調合技術で配合した粉末状の耐火物です。各種高温プラントに使用され、「工期短縮」「省エネ」等、お客様のニーズに合わせてご提案します。
結合耐火物	BNC/ HAS	整粒された耐火原料をプレス成形し1,500℃以上の高温で焼成して作られる耐食性と耐熱衝撃性を兼ね備えた耐火物です。主にセメントキルンで使用され、国内外の多くのお客様にご採用頂いています。
ファインセラミックス	セラロイ-N/ セラロイ-C	サブミクロンの高純度原料を高圧成形、非酸化雰囲気焼成して作られる耐熱性、耐食性に優れたセラミックスです。鉄・アルミ・電子関連等、多くの分野でご採用頂いています。
3Dプリンタ用 セラミックス造形材	Brightorb®	長年培ってきた、セラミックスの溶融技術等の製造ノウハウを結集した、3Dプリンタ専用のセラミックス造形材です。鑄造プロセスの工期短縮や工芸・美術品の用途でも注目されています。
エンジニアリング	エコリード窯	ガラス窯の、設計、建設支援、遠隔操業モニタリングなどお客様のニーズに合わせたエンジニアリングサービスを提供することで、省エネや環境負荷低減、長寿命化と安定操業に貢献します。

(日本)

■ AGCセラミックス株式会社

- ・本社 東京
- ・高砂工場（兵庫県） 製造・開発
- ・東京、大阪支店、北九州営業所

■ AGCプライブリコ株式会社

- 不定形耐火物とエンジニアリングの専門メーカー
- ・本社 東京
 - ・茅ヶ崎工場（神奈川県） 製造・開発



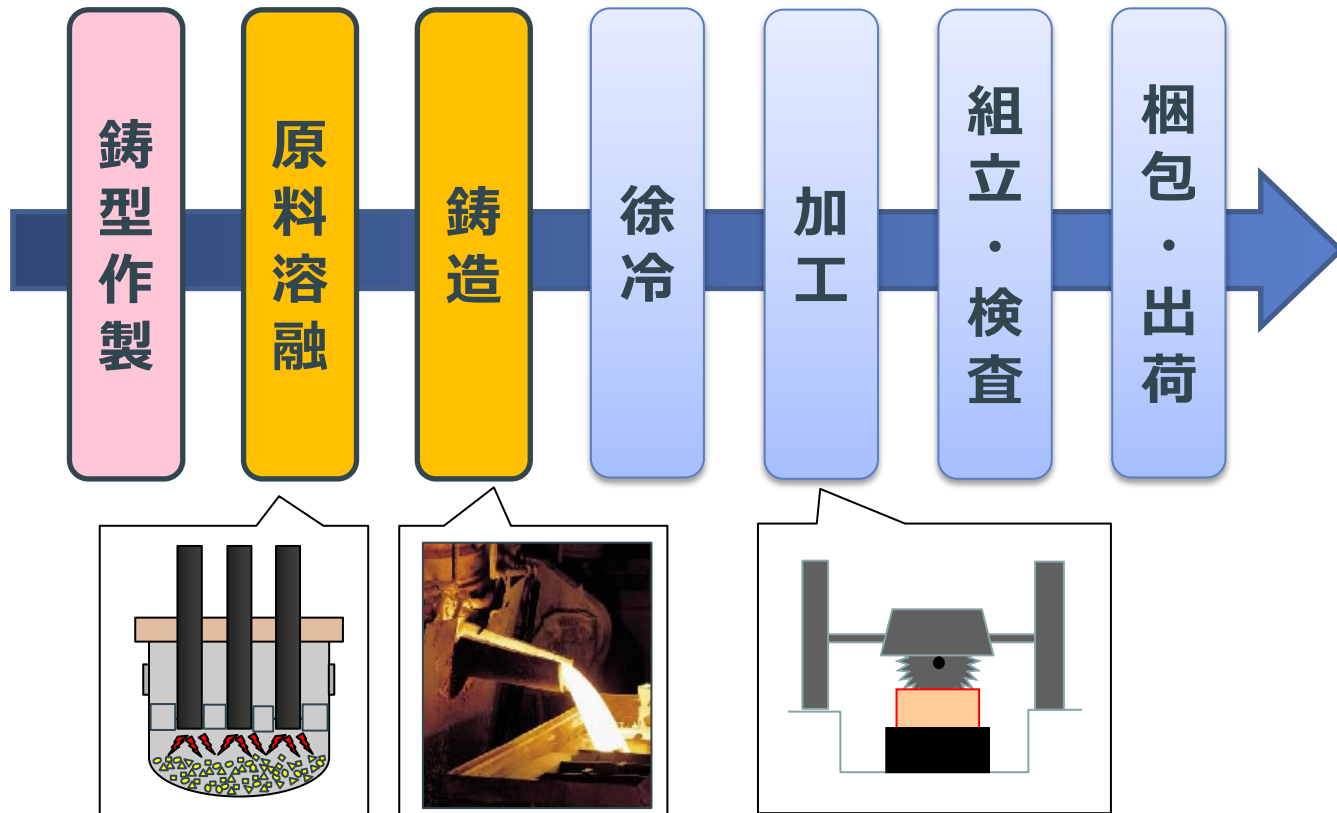
(東京) 三田NNビル



AGCセラミックス(株)高砂工場事務所
(AGC関西工場 高砂事業所内)

(海外拠点)

- 淄博艾杰旭剛玉材料有限公司（中国）
- 艾杰旭派力固（大連）工業有限公司（中国）
- 江蘇恒耐杰旭工業陶瓷有限公司（中国）
- 微瓷科技(江西)有限公司（中国）
- AGCセラミックス シンガポール株式会社



ガラス溶解炉に要求される機能に合せた電鑄耐火物を提供しています

	説明
ZrO ₂ 系 ZB-X950シリーズ	高品位が要求される特殊ガラス溶融炉に最適なガラス素地汚染性と耐食性を有する電鑄耐火物
Al ₂ O ₃ -ZrO ₂ -SiO ₂ 系 ジルコナイトシリーズ	高温でも優れた耐食性を有する電鑄耐火物
Al ₂ O ₃ 系 マースナイトシリーズ	ガラス素地汚染性に優れる電鑄耐火物

ZB-X950



ジルコナイト



マースナイト



低セメント乾式吹付けキャストブル

GRAM (Gunning Ramcrete)

GRAMは耐火物メンテナンスの

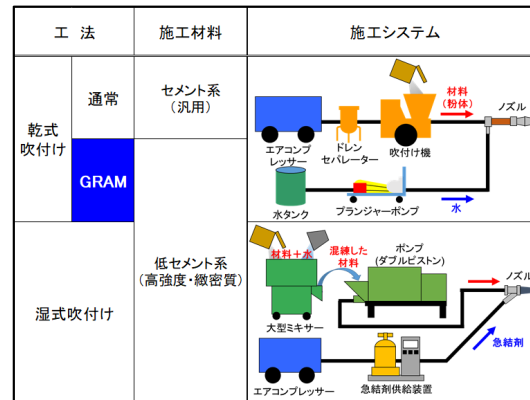
工期短縮・省人化に貢献します

高性能な低セメント系材料を乾式吹付工法で施工できる
独自商品

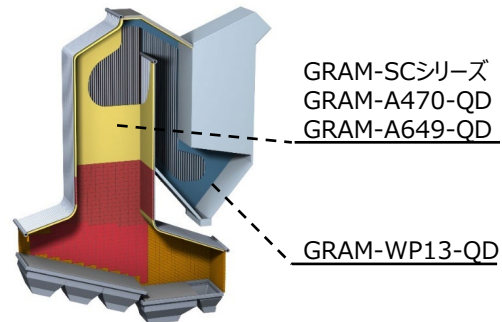
シンプルな工法と昇温時間の短縮により**工期短縮**に貢献します

一般的な吹付機のみで施工が可能のため**省人化**に貢献します

■ GRAMの工法イメージ

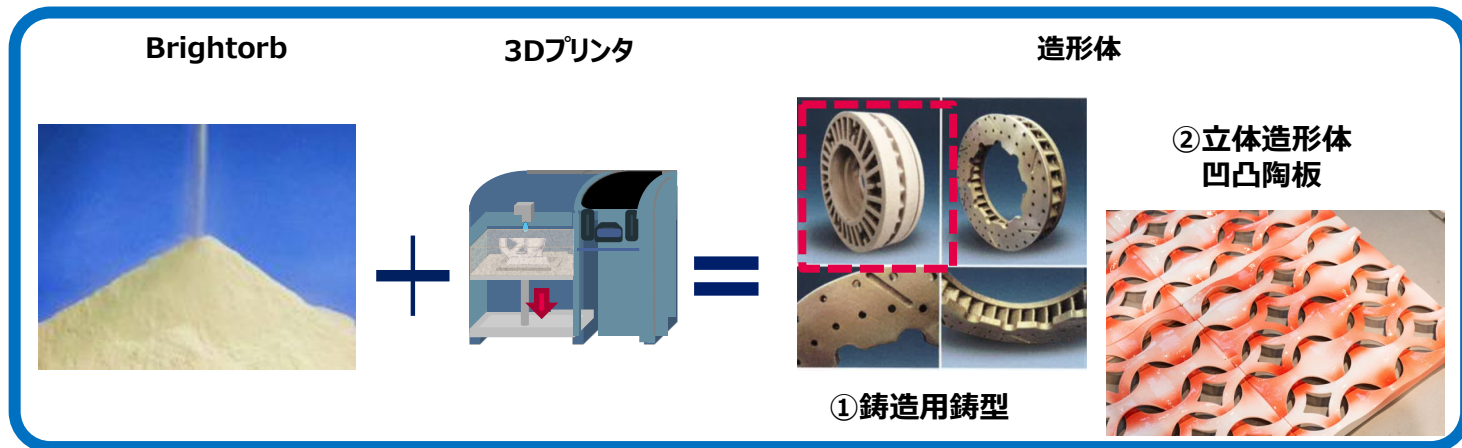


■ GRAMライニングイメージ



大型インクジェット方式(※1)に対応した3Dプリンタ専用セラミックス造形材

(※1)AGCセラミックス国内工場に1000mm×600mm×500mm造形Boxサイズの大型3Dプリンタ保有。



【Brightorbの特徴】

- ・ 鋳鋼など1,600℃以上の熔融金属用**鋳型**へ適用できる
 - ・ 1400℃焼成でも**約1%の収縮率(※2)**を実現
- (※2)通常陶器用粘土では収縮率10%以上有り、焼成後収縮・変形有。

【提供価値】

- ① 高精細セラミックスのデザイン・設計
- ② マスカスタマイズ生産
- ③ 鋳造試作・開発期間の短縮

その他参考情報

	役職名	氏名	就任～退任	備考
1	社長	岩崎 俊彌	明治40年(1907)9月～昭和5年(1930)10月	
2	会長	山田 三次郎	昭和6年(1931)3月～昭和14年(1939)6月	社長空席
3	社長	大野 政吉	昭和14年(1939)7月～昭和18年(1943)12月	
4	社長	池田 亀三郎	昭和18年(1943)3月～昭和21年(1946)3月	※
5	社長	森本 貴一	昭和21年(1946)3月～昭和21年(1946)12月	※
6	社長	森 規矩夫	昭和21年(1946)12月～昭和25年(1950)4月	※
7	社長	桑田 時一郎	昭和25年(1950)4月～昭和25年(1950)6月	※
8	社長	渡辺 喜市	昭和25年(1950)6月～昭和27年(1952)2月	
9	社長	森本 貴一	昭和27年(1952)2月～昭和42年(1967)8月	
10	社長	倉田 元治	昭和42年(1967)8月～昭和48年(1973)2月	
11	社長	山下 秀明	昭和48年(1973)2月～昭和56年(1981)3月	
12	社長	坂部 武夫	昭和56年(1981)3月～昭和62年(1987)1月	
13	社長	古本 次郎	昭和62年(1987)1月～平成4年(1992)3月	
14	社長	瀬谷 博道	平成4年(1992)3月～平成10年(1998)6月	
15	社長	石津 進也	平成10年(1998)6月～平成16年(2004)3月	
16	社長	門松 正宏	平成16年(2004)3月～平成20年(2008)3月	
17	社長	石村 和彦	平成20年(2008)3月～平成26年(2014)12月	
18	社長	島村 琢哉	平成27年(2015)1月～令和2年(2020)12月	
19	社長	平井 良典	令和3年(2021)1月～現在に至る	

※昭和19年(1944)4月～昭和25年(1950)5月は(旧)三菱化成工業㈱

会社沿革 (1)

年	沿革
1907	旭硝子株式会社創立
1909	尼崎工場（現関西工場）を設置し、日本で初めて板ガラスの工業生産を開始
1914	牧山工場（現北九州事業所）を設置
1916	ガラス溶解窯の構造材である耐火煉瓦の生産を開始し、セラミックス事業に参入 鶴見工場（現京浜工場）を設置 ガラスの原料であるソーダ灰の製造を開始
1917	伊保工場（現高砂工場）を設置
1939	日本化成工業(株)と合併し、三菱化成工業(株)と改称
1944	企業再建整備法により、三菱化成工業(株)が3分割される。当社は旭硝子(株)の旧名に
1950	復して設立され、再発足。株式を上場。 ブラウン管用ガラスの生産を開始
1954	自動車ガラスの生産を開始
1956	インドでのガラス生産を開始し、日本の民間企業としていち早くインドに進出 千葉工場を設置
1959	フッ素化学品の生産を開始
1964	タイ旭硝子社（現AGCフラットガラス・タイランド社）を設立し、タイに進出 羽沢研究所（現中央研究所）を設置
1965	タイ旭苜性曹達社（現AGCケミカルズ・タイランド社）を設立し、アジアでの化学品生産を開始
1970	愛知工場を設置
1972	相模事業所（現相模工場）を設置 アサヒマズ板硝子社を設立し、インドネシアに進出
1974	鹿島工場を設置 タイ安全硝子社（現AGCオートモーティブ・タイランド社）を設立し、アジアでの自動車ガラス生産を開始

年	沿革
1981	ベルギーのグラバーベル社（現AGCガラス・ヨーロッパ社）を買収、欧州に進出
1985	APテクノグラス社（現AGCフラットガラス・ノースアメリカ社の自動車ガラス部門）を設立し、 米国での自動車ガラス生産を開始 合成石英ガラスの生産を開始
1988	米国の板ガラス製造会社であるAFGインダストリーズ社（現AGCフラットガラス・ノースアメリカ社）に資本参加し、同国での板ガラス生産を開始
1991	ベルギーのスプリンテックス社（現AGCオートモーティブ・ヨーロッパ社）へ資本参加、欧州での自動車ガラス生産を開始
1992	中国に大連フロート硝子社を設立し、同国での板ガラス生産を開始 旭硝子ファインテクノ(株)（現AGCディスプレイグラス米沢(株)）で液晶用透明電導膜付きガラス基板の生産を開始
1995	TFT液晶ガラス基板用無アルカリガラスの生産を開始 中国に秦皇島海燕安全玻璃有限公司（現旭硝子汽車玻璃（中国）有限公司）を設立し、同国での自動車ガラス生産を開始
1996	プラズマディスプレイパネル（PDP）用ガラス基板の生産を開始
1997	ロシアのボー・グラス・ワークス社（現AGCボー・グラスワークス社）に資本参加し、ロシアに進出
1999	英国ICI社のフッ素樹脂事業（現AGCケミカルズ・ヨーロッパ社）を買収し、欧州でのフッ素化学品の生産を開始
2000	台湾に旭硝子ファインテクノ台湾社（現AGCディスプレイグラス台湾社）を設立し、台湾でのTFT液晶用ガラス基板の生産を開始
2002	カンパニー制を導入し、グローバル一体経営体制に移行
2004	AGCオートモーティブ・ハンガリー社を設立し、ハンガリーでの自動車ガラス生産を開始 旭硝子ファインテクノ韓国社（現AGCファインテクノ韓国社）を設立し、韓国でのTFT液晶用ガラス基板の生産を開始

年	沿革
2007	グループブランドをAGCに統一 旭ファイバーグラス(株)の全株式を譲渡し、ガラス繊維事業から撤退
2008	オプトレックス(株)の当社が保有する全株式を譲渡し、液晶表示装置事業から撤退
2009	北九州工場から自動車ガラス事業を撤退 スマートフォン・タブレットP C等のカバーガラス向けに化学強化用特殊ガラスの生産を開始
2010	中国にTFT液晶用ガラス基板の生産拠点として、AGCディスプレイグラス昆山社を設立 韓国電気硝子社でのブラウン管用ガラス生産を停止し、同事業から撤退
2011	ブラジルにAGCガラス・ブラジル社を設立し、同国に進出
2012	ドイツのインターペイン・グラス・インダストリー社と戦略的提携
2013	シンガポールに東南アジア地域統括拠点として、AGCアジア・パシフィック社を設立
2014	ベトナムの塩ビ事業会社フォーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社(現AGCケミカルズ・ベトナム社)に資本参加し、同国に進出 PDP用ガラス基板の生産を停止し、同事業から撤退
2015	ポーランドの自動車用補修ガラスメーカーであるノードガラス社の全株式を取得 環境負荷の低い次世代の自動車用冷媒HFO-1234yfの供給を開始 北アフリカへ初進出モロッコに自動車用ガラス生産拠点を新設
2016	ドイツのバイオミーバ社(現AGCバイオリジクス社)の全株式を取得し、同国でのバイオリジクス事業を開始 デンマーク・米国に開発拠点を有するCMCバイオリジクス社(現AGCバイオリジクス社)の全株式を取得し、同国でのバイオリジクス事業を開始 タイの化学品製造・販売会社であるピニタイ社の過半数株式を取得し、同国において新たに塩化ビニル樹脂の生産拠点を確保

年	沿革
2017	デンマーク・米国に開発拠点を有するCMCバイオリジクス社(現AGCバイオリジクス社)の全株式を取得し、同国でのバイオリジクス事業を開始 タイの化学品製造・販売会社であるピニタイ社の過半数株式を取得し、同国において新たに塩化ビニル樹脂の生産拠点を確保
2018	社名を旭硝子株式会社から「AGC株式会社」に変更(7月1日) 米国パーク・エレクトロケミカル社のエレクトロニクス事業を買収
2019	モロッコの自動車用ガラス生産拠点を新設 スペインのMalgrat Pharma Chemicals, S.L.U.(現AGC Pharma Chemicals Europe, S.L.U.)の全株式を取得し、同国での合成医薬品開発製造受託事業を開始
2020	米国Taconic社のAdvanced Dielectric部門グローバルオペレーションを買収 米国バイオリジクス社原薬製造工場を買収 「窓を基地局化するガラスアンテナ」5G対応の開発が完了 EUV露光用フォトマスクブランク供給体制を大幅増強 AGC Bioligics社の遺伝子・細胞治療CDMOのサービス拡大を本格化 新研究棟を開設
2021	旧中央研究所と旧京浜工場の研究開発拠点を統合し、AGC横浜テクニカルセンターとして運営を開始 北米建築用ガラス事業を米国のCardinal Glass Industries社に譲渡
2022	東南アジアのクローラルカリ事業子会社を統合再編し、新たにAGC Vinythai Public Company Limitedを設立
2023	ライフサイエンスカンパニーを新設 中国の各種フロートガラス等製造販売会社である艾杰旭特種玻璃(大連)有限公司の全株式を上海耀皮玻璃集团股份有限公司に譲渡

主要拠点の初進出時の事業概要を年表にまとめました。

年	欧州・その他
1981	【ベルギー】のグラバーベル社（現AGCガラス・ヨーロッパ社）を買収、欧州に進出
1997	【ロシア】ポー・ガラス・ワークス社（現AGCポー・ガラスワークス社）に資本参加し、ロシアに進出
1999	【英国】ICI社のマソク樹脂事業（現AGCケミカルズ・ヨーロッパ社）を買収し、欧州でのマソク化学品の生産を開始
2004	【ハンガリー】AGCオートモーティブ・ハンガリー社を設立し、ハンガリーでの自動車ガラス生産を開始
2012	【ドイツ】インターペイン・ガラス・インダストリー社と提携（現在は連結子会社）
2014	【サウジアラビア】Obakar社と建築用ガラス加工会社設立について合意
2015	【ポーランド】自動車用補修ガラス事業会社NordGlass社を買収
2019	【モロッコ】自動車用ガラス生産拠点を新設 【スペイン】合成医薬品開発製造受託事業を開始
2020	【イタリア】AGC Biologics社の遺伝子・細胞治療CDMOのサービス拡大を本格化

年	日本・アジア
1907	【日本】旭硝子株式会社創立
1956	【インド】ガラス生産を開始、日本の民間企業としていち早くインドに進出
1964	【タイ】タイ旭硝子社（現AGCフラットガラス・タイランド社）を設立し、タイに進出
1972	【インドネシア】アサヒマズ板硝子社を設立し、インドネシアに進出
1992	【中国】大連フロート硝子社を設立し、同国での板ガラス生産を開始
2000	【台湾】旭硝子ファインテクノ台湾社（現AGCディスプレイガラス台湾社）を設立し、台湾での液晶用ガラス基板の生産を開始
2003	【韓国】韓旭テクノグラス社にて、韓国でのPDP用ガラス基板の生産を開始
2014	【ベトナム】塩ビ事業会社フーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社を買収
2017	【タイ】化学品製造・販売会社であるピニタイ・パブリックカンパニー社の過半数株式を取得し、同国において新たに塩化ビニル樹脂の生産拠点を確保
2022	【タイ】東南アジアのクロールアルカリ事業子会社を統合再編し、新たにAGCピニタイ社を設立

年	北米・南米
1985	【米国】APテクノグラス社（現AGCフラットガラス・ノースアメリカ社の自動車ガラス部門）を設立し、米国での自動車ガラス生産を開始
2011	【ブラジル】AGCガラス・ブラジル社を設立し、同国に進出
2013	【メキシコ】AGCオートモーティブ・メキシコ社を設立
2018	【米国】パーク・エレクトロケミカル社のエレクトロニクス事業を買収 【北米】AGC Biologics バイオサイエンス事業の一体運営を開始
2019	【米国】Taconic社のAdvanced Dielectric部門グローバルオペレーションを買収
2020	【米国】米国バイオ医薬品原薬製造工場を買収



Your Dreams, Our Challenge

AGC株式会社

千代田区丸の内一丁目5番1号
新丸ノ内ビルディング

www.agc.com